

---

# ラブ！キレ（日本語版）

ビタミン愛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ラブ！キレ（日本語版）

### 【Zコード】

Z2711D

### 【作者名】

ビタミン<sup>愛</sup>

### 【あらすじ】

愛<sup>ラブ</sup>は中2の女子で江戸時代に実在した火付盗賊改の子孫！！生か死か！？お笑いソッコミー！アクション！！エンターテイメント！

！

## プロローグ1

ラブ・キレ（日本語版）  
始まるよ！

某田…

「ギャーー！」

泣き叫ぶ赤ちゃん！  
手足を縛られている！

愛<sup>ラブ</sup>

「人生、0・1秒先は  
生か？死か？」

ラブ＝中2の女子で  
火付盗賊改の子孫  
火付盗賊改

（ひつけとうぞく

あらため）＝

江戸時代に実在した

放火、

強盗等を

取り締まつた

役所（役人）

氣生

〃小4男子

「ボクは

死にたくもないし！

生きたくもないんだ！」

14年前：

時代は人々が

1番萌えている時代…

萌江戸時代

場所は人々が

1番萌えている町

⋮

萌江戸 777町

某日、萌江戸の公園で…

ラツ！パラツ！と降つて來た

晴天なのに雨がパ

キツネの嫁入りと呼ばれる天氣だ

少し胸騒ぎ

雨はすぐに上がった

赤ちゃんをベビーカーに  
乗せ、散歩する母親

そこへ子ザルが來た

# 母親

「ゴメンね！ 食べ物  
ないの！」

子ザルは残念そうに去る

二二二

「キイー！」

叫ぶサル

母親

キアーナ!

叫ぶ母親

生肉を食つたのか

サルのキバとツメは、  
赤くぬれている

サルはベビー・カーに  
いうまに消えた

乗つて いる赤ちゃんを  
抱えて、あつ！と

泣き崩れる母親

いく生泣いても赤ちゃんとは それできりたてた

同時刻

萌江戸から船で30分 行った海上で…

転覆した船の捜索をしている

# 火付盗賊すべて改たち

(わたりとくわくべくべてあらため)

# 火付盗賊すべて改の

犯罪を取り締まり、人と町を守るために、あらゆる特殊任務をこなす事

5分後、別

通称は改

改たちの船から  
古い帆船が現れた

京町

「遊覧船？」

きなわ

「うらやましい！」

八本木

「幽霊船？」

火る志

「幽霊船？そんなバカな！今は萌江戸時代だよ！平成  
時代じやあるまいし！」

改たち

「ワツ！ハツ！ハツ！」

と大笑いする

大洗の海じやないのに！茨城県の人には  
ウケるんですけど…

改たち

「わあーー！」

突然、大波が改たちの

船を襲う

転覆する船

必死に泳ぐ火る志

火る志

海に投げ出される改たち

「これは、  
さつきの幽霊船の  
たたりか？」

京町！  
かしら  
頭！きなわ！

ハ本木！」

仲間がすべて消えた！ 頭から出血している！ サメが来た！ 海水で 体温が下がり震える

火ろ志

「終わりだな」

海中に沈み始める

スウーと火ろ志に何か

接近する

タトゥーの男

「手につかまれ！」

火ろ志は頭にヘビの

タトゥーがある男に

助けられた

「ありがとう！」

火ろ志

氣を失う

萌江戸北町病院で…

眠りから覚める火ろ志

火ろ志

「他のみんなは？」

看護師

「改頭の渋矢さんが行方不明です」

あらためかじら  
改頭＝隊長

ショックで声も出ない

火ろ志

「私を助けてくれた、 頭にヘビのタトゥーが ある男性を知りませんか？」

看護師

火ろ志

火ろ志

頭にヘビのタトゥーが ある男性を知りま

「そのような人の話は聞いてませんし、見ても いません」

その日の夕方、病院の廊下で…

あゆめ

「早く退院できるといいですね！」

火る志

「あなたも！」

あゆめは実家がある 大トロピカル島で大津波にあい入院した  
あゆめは過去の記憶を失っていた  
火る志の船が転覆した 原因  
も大津波だった

3日後…

2人は病院を抜け出し 夜汽車に飛び乗った

14年後、

某日の朝…

萌江戸北町学校に 登校して来る生徒たち

校門をはきそうじする 勝<sup>かつ</sup>校長

教室で…

癒し系3人組、まみ、むめ、もも登場！

まみ

変えた？」

「あつ！もも髪型

もも  
「わかる?」

むめ  
「ふわゆる

「ブー!はずれ!

パーマでじゅう?」  
もも

ゆるふわでーす!」

むめ  
「それ!同じ!」

セクシー系3人組、

K K、L、M登場

「もも!失敗パーマ!

L

「かわいそう!」

泣くもき!

M

「りゅう様も

かわいそつって言つてる!」

りゅう=イケメンの

クラスメート

もも

「そんな事言つて

ないもん!りゅう様! ももに優しいもん

!」

K

「りゅう様はみんなに 優しいの！」

まみ

「もも！泣かないで、 こんな子たちに負けないでグラビアデビュ  
ーしたんだからー！」

K

「そんなのと比べて 昔やつましたー！」

むめ

「着物モデル やりました！」

L

「こっちは水着モデルよー！」

M

「はい！私たちの勝ちー！」

まみ

「ねえ！男子！私たちの方がいいよね？」

戸江萌  
どえも

「うーん！迷うなー！」

戸江萌＝おスマウ部  
ニックネームはドM

まみ

「男子って言つても イケメン限定なのー！」

K 「ドMは、

まわしつけて、

しこふんで塩まいて

ちゃんこ作つてろ！」

「もも！ もう泣かないで！ 今日アイスクリー

ムの トッピングおこるから！

始業チャイムが鳴る

まみ

「トッピングつ 無料の日あるよねー！」

むめ

「今日！」

教師が教室に入つて来た生徒たちは見た事のない顔の教師にざわつく

金ニック・ジュニア 「今日からこのク

ラスの担任になる

金ニック・ジュニアだ！

金ニック・ジュニア= 韓国系アメリカ人<sup>11</sup> タンクトップに短パンで筋肉がモリモリしている

金ニック・ジュニア 「私を

ラブ！ キレの主人公に して欲しい！」

K

「今、来たばつかで！？ ムリでしょーーー？」

金ニック・ジュニア 「今回は、あきらめます

だけど、

ラブ！ キレ<sup>2</sup>の主人公に絶対なつてやるーーー！」

桜子<sup>さくらこ</sup> 「親に甘やかされて 育つたなー！」

金ニック・ジュニア 「このクラスの前の担任

だつた前野先生は都合により退職しました

大学生<sup>だいがくせい</sup> 「

「都合つてなんですか？」

ア 「2人の秘密なので話せません!」

金ニック・ジュー

大学生

「病気ですか?」

金ニック・ジュー 「じゃあ、話します」

魔心

「秘密ばらすの早くな?」

金ニック・ジュー 「前野先生は長年

の夢 だつた、田舎暮しのため退職して引越ししました」

大学生

「ど」へ引越ししたんですか?」

金ニック・ジュー 「2人の約束なので話せません!」

大学生

「アメリカですか?」

猫多

「北朝鮮ですか?」

曰江萌

「トリー!...トリー!ダ...トリー!ダードトバゴですか?」

金ニック・ジュー 「トリー!ダードト

バゴつてスラッ...と言ふように練習しなさい!...じゃあ、話します

魔心

「約束破るの早くね?」

金二ック・ジユニア

「中トロピカル島に

引越しました

授業始めるぞ！今日は 校長のかつらが自然な 感じなので、1日  
体育、水泳です」

だいがくお  
大学生<sup>!!</sup>

学年で成績NO.1

ましん  
魔心<sup>!!</sup>

暴走部の部長

世路市<sup>く</sup>区（よろじく<sup>く</sup>）

ねこた  
猫多<sup>!!</sup>

猫より睡眠時間が多い男

プールで…

金二ック・ジユニア

「男子はクロール

3000メートルの記録を取る！

女子は自由行動でーす！

女子たち

「やつたー！」

金二ック・ジユニア 「男子ークロールが 終わつたら平泳ぎ  
3000メートルの記録を取る！」

ぱす（5つ子の長男） 「水泳部かよー！」

金二ック・ジユニア 「女子はビ  
ーチボール 使っていいでーす！」

男子！平泳ぎが  
終わつたら背泳ぎ 3000メートル  
の記録を取る！

「日本代表かよ！」  
だんく（5つ子の次男）

金二ック・ジユニア 「女子はサンオイル 使っていいでーす！

男子！背泳ぎが  
終わつたらバタフライ 3000メートル  
の記録を取る！」

しゅうと

（5つ子の三男） 「魚介類かよ！」

金二ック・ジユニア 「女子は、お皿に

プールサイドでバーべキュー やりまーす！」

女子たち

「やつたー！」

金二ック・ジユニア 「男子は教室で弁

当食えー！」

K

「3Dかわいそーー！」

人組の龍、竜、りゅうの事

（りゅう= DRAGON）3人のDRAGON だから3D

K

3D=イケメン3

「先生！男子も  
自由行動にして下さいーーー！お願いしまーす  
！」

「ダメだ！一度決めた事は変えない！私は金一ツク・ジユニアの意思が強いんだ！」

M

先生ってイケメンでカッコいい！」

是!!長!!い!!  
スライル最高!!

「筋肉スゴーい！」

まみ

「付き合いたーい！」

田徑運動

「意味、弱くね？」

ノーツ

## 「何の話ですか？」

か

「△リ！」

ぱす（長男）  
だんぐ（二男）

だんぐ (一野)  
ぱす (岐野)

金一ツク・ジユニア  
「付き合いたいと

K

金二ツク・ジユニア 「じゃあ男子も自

一  
じ  
や  
あ  
男  
子  
も  
自

魔心

「  
」

金・シ・ク・シ・ニ・ア

金一ツケ・ジユニア

付き合いたいと

しゅうと（三男）

りんぐ（四男）

じゅおる（五男）

5人は5つ子で全員  
バスケ部

5人の身長は全員  
2メートル99センチ

次の日の朝  
ラブの自宅で…

火ろ志

「ラブ！今日の午後、お客さんが来るから、お茶を出してくれ  
！」

ラブ

「ハイ！父上！」

夕方、

萌江戸北町

火付盗賊すべて改本部

道場で…

「じめん下さい！」

ベイ

「はい！何のじ用ですか？」

サングラスの男

「剣のけいこを見学  
ベイ

「はい！どうぞ！若いのに偉いですね！」

したいのですが？」

サングラスの男

「泣かす…イヤ！失礼します！」

いきなり道場の真ん中に行くサングラスの男

サングラスの男

「道場破りだ！」

道場破りの目的は？ お金？修行

？売名？

アルコ

「あーあつーめんどくせー！たまに来るんだよねー！こうこうのー！」

由由

「ちょっと待つて！相手決めるから…ジャンケンでいいか？」

ジーマ

「子供は自転車で走り回つてろー！」

シュー

「まあ！まあ！おさえて！おさえて！子供は、  
よく言って聞かせれば わかるから！ なあーほりやー…マ  
ンガが何か見て、マネした かつたんだよなあー？」

サングラスの男

「ちがひー…」

シュー

「あつ！わかった！ レースゲームだな？ 友だちが外で見てるんだな  
あ？」

サングラスの男

「すきありー！」

シュー

「ギヤーー！」

サングラスの男にへそを打たれるシュー

サングラスの男

「はー！次の患者さん どうぞー！」

サングラスの男

由由

「寝言は寝て言え！」

サングラスの男を攻撃 する由由

かわすサングラスの男

由由

「ギャー！」

サングラスの男に木刀でへそを打たれる

由で合図をして サングラスの男のまわりを取り囲む改たち

一斉に前から後ろから サングラス

の男を 攻撃する改たち

サングラスの男 「へそ！へそ！へ

そ！」

あつー！という間に改たちを倒していく

そこへラブが来た 窓から道場の中を

見た

ラブ

「あのサングラスの

人だな？！朝、父上が話していたお客様は！お茶をお出してしましょう！」

サングラスの男の勢いはスゴく10人以上

の 改を一気に倒した

サングラスの男 「あと1人か？」

ジーマ

「ケガしねーうち帰りな！」

サングラスの男

「はいー！」

ジーマ

「よし！いい子だ！」

サングラスの男

「帰るのはテーマを倒してからだよ！」

戦う2人！カン！コソ！激しくぶつかる木刀

サングラスの男

「くそ…」

「ギャー」

倒れるジーマ

そこへラブが来た

ラブ 「『』指導

『』ぐりりつをまです！

お茶を『』つで…

サングラスの男

「どうもー！」

ラブ

「どうから

いらっしゃったなんですか？」

サングラスの男

「町内です」

ラブ

「そうだと思いました

予想してました

サングラスの男

「予想？」

ラブ

「はい！町内から今、「」の時間においてになるとー。」

「これは、

オレを倒す

ワナだ！ヤバイぜ！

この女子！オレが他の道場破りもやつたつて

知つてゐるんだ！と

思うサングラスの男

そこへ火る志が来た

サングラスの男に

イタくされて座り込んでいる改たち

火る志

「これは何事だ！」

ラブ

「お客様が剣の

ご指導して下さいました

火る志

「その男は知らない！」

ラブ

「父上が朝、話していたお客様とちがうのですか？」

火る志

「ちがーうー！」

サングラスの男

「やつと主役登場

か？」

火る志

「君は？」

サングラスの男

「道場破りでーす」

火る志

「ほつやにしては  
がんばったよ！」

サングラスの男

から、

あんまりほめない方が  
強くなっちゃうから！」

火る志

「私は素手でも君を  
倒せる！」

だ！」

サングラスの男

「あそびは終わり

サングラスをはずす男

右目がブルー

左目がグリーン

男の目の色は

サングラスの男

「勝負の前に、  
お茶もう一杯！」

ラブ

「ムリー！」

サングラスの男

「泣かす！」

火る志

「ラブー！母さんに  
お金もらってきて、  
この人にやつてくれー！」

サングラスの男

「金はいらねーよー早く勝負しろー。」

ラブ

「ここの勝負、ラブも参加します！」

サングラスの男

「女子はママ」と

してろー！」

ラブ

「いざー！」

を持ち背中に一本、木刀を

さしているラブ

サングラスの男

「女子はプリン作

つてろー！」

ラブ

「ラブ！

キレまーす！」

チギレするラブ！

改たち

「ガンバレ！ラブちゃん！ガンバレ！ラブちゃん！」

ラブ

「いざー！」

両手に一本づつ木刀を 持ち、  
背中に一本、木刀をさしているラブ。

サングラスの男

「女子に勝つても うれしくねーし！」

この女子！二刀流か？ 背中の木刀が気になるーもしかしたら、この女子！すごく強いかも？

と思つサングラスの男

改たち

「道場破りさん！」

「ビビッてる！」

「道場破りさん！」

「ビビッてる！」

「サングラスの男

「オレ！女子、

「泣かさねータイプだし…あの…その…やめた！」

「やめた！」

道場から出て行く

サングラスの男

シュー

「ラブちゃん！スゴい！道場破り  
追い出しちゃったよ！」

サングラスの男

「ごめん下さい！」

「わあーー！」

サングラスの男

「わあーー！」

ラブの木刀の一撃をギリギリよける

ラブ

「くっ…しきじつた！」

火る志

「ラブ…やめなさい！」

ラブ

「父上…ココはラブに 任せて下さい…」

火る志

「その人が朝、

「話したお客様さんだ！」

サブ

「先輩！そこの  
あぶない女の子は？」

火る志

「娘のラブだ！」

ラブ

「ゴメンなさい！  
サングラスして道場に  
です！  
来る人は、みんな道場  
破りだと思つたん

サブ

「ラブちゃんの  
攻撃をかわせないよ、  
じゃオレは改、引退するよ！」

ラブ

「すきあり！」

ラブの木刀の一撃がサブのうでにあたる

サブ

「あっ！」

ジーマ＝元マジシャン  
本人は、お金を使った  
マジックが得意と言つてゐるが、時々、お金が  
消えたままになつて  
しまう。彼にマジックを  
やるから、お金を貸して  
と言われたら  
「断る！」とキッパリ

言つてやう！

ベイ＝新人の改  
ベイビーのベイ

アルコ＝

ビール大好き！

アルコールのアルコ

由自＝名前の由来は自由

シュー＝元パーティシエ  
シュークリームのシュー

次の日、道場破りの サングラスの男の家で…

りある

「変な女子が出て来て、道場破りダメになつた！成功すればいい会  
社の  
用心棒になれたのに！  
また、同じような事が  
あるとダメだから  
オレ就職する！」

まゆめ

「お父さんがいれば、 こんな苦労しないのに…

りある

「コレ！落ちて  
たんだけど…」

1枚の古い写真を

まゆめに渡す。

まゆめ

「あつ！ソノ写真は！」

りある

「マザー！ふたごだつたんだ？」

まゆめ

「そうよー。姉さんは、りあると同じ歳の子供がいても不思議じや  
なかつたのに…  
かわいそうに…」

りある

「かわいじやう？」

まゆめ

「姉さんは死んだのよ」

次の日、りあるの皿で…  
りある

「マザー！  
めし食つてから仕事探し行へよ。」

まゆめ

「りあるー。  
お米ないわー。」

1時間後、萌江戸北町で…

りある

「楽で給料の

いい仕事ねーかな？」

萌江戸北町学校の校門で…

りある

「用務員募集？」

校長室で…

用務員になるために面接をするつある。

勝校長

「学校へ行つて なにのですか？」

りある

「はい！母子家庭で  
学費がありません」

勝校長

「採用します！ただし 条件が2つあります  
1つは、この学校で  
勉強して卒業する事 もう一つは今、腰に  
校に 持つてこない事…」  
もつては今、腰に  
もつては今、腰に  
もつては今、腰に

1週間後：

萌江戸北町火付盜賊 すべて改本部道場で…

小雪

「あつー！ラブちゃんに 贠けた男子だー！」

小雪こゆきは5歳で海雪みゆきの娘

りある

「オレの名前は

ラブちゃんに負けた男子じゃねえー！ちびつ」はあつち行けー！」

小雪

「ちびつ！じょじょないよー私の名前は雪小雪！ から 読んでも雪小雪！」 右から読んでも左

りある

「完全に親に

言わされてる！」

りある

「小雪！幼稚園は？」

小雪

「1日行って

それっきり！」

りある

「登園拒否かよー！」

海雪は北町改本部で

セレベ海雪が来た

お手伝いさんをしていく

海雪

「あなたは？」

りある

「北町学校で用務員

やつてるりあるのです」

海雪

「あなたがラブちゃんに負けた男子ねー！」

りある

「結局ーーのへんじや オレ、

ラブちゃんに

負けた

男子つて呼ばれてるんだ！悲しい！オレ！

ガンバレー！」

ル島で…

中トロピカル島は萌江戸から船で3時間の所にある

某日、中トロピカル

墓荒らしの男

「冷蛇王」の

墓か！どんな宝があるか楽しみだぜ！」

冷蛇王<sup>れいじや</sup> 江戸時代の犯罪組織 「冷蛇」

「やつと見つけたぜ！ コレが

のトップ

あつた

墓荒らしの男

「宝の地図か？

オレは大金持ちだ！ワツ！ハツ！ハツ！」と 大笑いして

巻物を見る男

巻物には、こう書かれていた…

未来の私へ元気にやつていますか？

墓荒らしの男

「タイムカプセルかよ！

萌江戸北町のコンビニの駐車場で…

1匹のサルが現れた サルのキバとツメは生肉を食つたのか、  
赤くぬれていいる サルは車の中にいた 赤ちゃんを  
抱いて あつ！という間に消えた

事件を捜査する 改たち

北町改本部で…

火る志

「サルが人間の 赤ちゃんを誘拐する事件は過去にあつたか  
？」

火る志<sup>ひるし</sup> 改頭<sup>あらためかしら</sup>

隊長

日田

「江戸時代にありました！冷蛇の手口です！冷蛇はサルに赤ちゃんを誘拐させて売っていました！」

火る志

「冷蛇は滅びたはずだが？アルコ・ジー・マ！赤ちゃんを救え！」

サルを捕まえろ！」

アルコ・ジーマ

「了解！」

1時間後、赤ちゃんは

無事保護されたが、サルは捕まらなかつた

現場に落ちていたサルの毛を持ち帰るアルコ

3日後、萌江戸西町改頭の八本木たちが事件を起こした サルを捕まえた

サルの事件は冷蛇王の

墓を荒らしたから起きた！これは冷蛇王の

たたりだ！と

人々はスゴクおびえた！

次の日、

北町改本部で…

ベイビー・ハウス職員 「サルの事件を見て 来ました。

14年前に

ベイビー・ハウスに置いていかれた赤ちゃんが手にコレを持っていました

した

ベイビー・ハウス＝

赤ちゃんを

育てられない親が赤ちゃんを 預ける施設

火る志

「コレは、もしかして サルの毛？14年前も サルが誘拐事件を起こしたのか？」

日田一この毛の

DNA鑑定をたのむ！」

30分後…

日田

「頭！ベイビーハウスの職員が持つてきた毛と アルコが持つてき  
たサルの毛のDNAが一致しました！」

日田<sup>でいた</sup>「コンピューターと科学が得意

火る志

「今回のサルが14年前も赤ちゃんを  
誘拐したのか？」

日田

「そうなります！ 他の可能性としては、  
クローンザルです！ クローンザルなら何匹 いてもDNAは一  
致 します！」

次の日、萌江戸北町学校の教室で…

戸江萌

「桜子が入院しちゃつたぞ！」

K

「えつー！  
大ピンチ！」

バンドコンテストまで あと2週間だよ！

桜子<sup>さくらこ</sup>「 バンド、  
クラスメイドールの ヴォーカル

バンドコンテスト<sup>=</sup> 萌江戸アマチュア

バンドコンテスト

「のコンテストで

優勝すると萌江戸で  
CDデビューできる！

まみ

「1年に一度の

L

「桜子の代わり

見つかるかな？」

「見つけた！」

「見つけるの早くね？」

魔心

むめ

「あんず！歌、

歌える？」「

あんず  
「校歌なら

1番だけ…

からダメ！」

2番は覚えづらい

あんず＝ラブの大親友

コンタクトレンズが

怖くて使えないの

メガネをかけてい

「あんずじゃムリか？」

M

「あつー・ラブは？」

魔心

「ラブって主人公だけどキャラ弱くね？」

K

「それ！みんな、

つづら感じてるよー。」

まみ

「今から主人公、

変える?」

「何の話?」

ラブ

「あつー!ラブ!

まみ

びっくりした!」

「じゃあー、  
ての どう?」

ラブとあんず

2人ヴォーカルつ

むめ

「あんずが

メガネっ子だからラブもメガネかける?」

K

「逆にあんずはメガネを捨てる!」

あんず

「わあー!私たちを無視して話がドンー・ドンー 進んでる!」

ラブ

「ラブ!メガネっ子になつてもいいよ! コンテストまで、  
あと2週間しかないん だもん早く練習しないとまにあわな  
いよ!」

まみ

「じゃあー、  
ヴォーカルやつてくれる?」

ラブ

「うん!クラスメート

助けなきやー やろう! あんずちゃん!」

あんず

「うん!メガネ捨ててもいいよー コンタクト

レンズ練習する!」

ラブ

「まみちゃん！質問が  
あります！」

「なーに？」

ラブ

「ヴォーカルって何？」

同日、北町改本部の食堂で…

サブ

「あーあつーはらへつた！」

海雪

「みんなーん、ゴメン

なさい！炊飯器の調子が悪かったので、  
遅れまーす！」

小雪

「遅れまーす！」

小雪

「ジーマさん！マジック見せて！」

ジーマ

「いいよーじゃあーお金消すマジックやるよー小雪ちゃん！  
現金100億円、用意して！」

100億円=

100億円

小雪は、おり紙を  
折り始めた

小雪は、つるを折った

小雪のつるは少し変だ！

サブ

お宣いはん15分

「小雪がやさーつるせ、じつー折るんだよー。」

つるを折るサブ

5分後、折ったつるを小雪に渡すサブ

海雪につるを見せに行く小雪

小雪

「ママー見てーサブちゃんが折ったペンギンちゃんー。」

サブのつるも 少し変だった

炊飯器

「ペーーー。」

「はんが焼けた

某田、萌江戸北町学校の教室で…

金二ック・ジユニア 「今日からみんなと  
る ラブ君だーみんな仲良くなれるよー」  
こっしょに勉強す

愛

「私の

名前は愛と書いて

（あい）ですー。」

金二ック・ジユニア 「あつーメンゴー・メンゴーこやーゴメンー。  
ゴメンー」のクラスには 愛と書いてラブという 女子がいる  
から同じだと思ったーあい君の席は ラブ君のとなりですー。」

休み時間：  
ラブ

「愛と書いてラブですか…もうしきくね…」

あい

「私は愛と書いて  
(あい)」

ラブの両田の色はブルー

あいの両田の色は  
グリーン

某日、萌江戸でサルが 3日連続、1日に  
を 誘拐した  
1人づつ赤ちゃんを

北町改本部に入った情報によると、  
抱いて古い帆船に乗つたそだそして古い帆船はパツ！と、あつ！  
というまに  
消えたそうだ

古い帆船は幽霊船だと 人々はスゴくおびえた

そしてサルが赤ちゃんを誘拐した事件は冷蛇王の墓を荒らしたから  
冷蛇王のたたりだと人々は スゴくおびえた

萌江戸でサルが3日連続、1日に1人づつ 赤ちゃんを誘拐し  
た事件の3日目、  
北町改本部で…

火ろ志

「日田の調べでサルに 赤ちゃんを誘拐させて 売るのは、江戸時  
代の 犯罪組織  
「冷蛇」とわかつたが

「冷蛇」

は江戸時代に滅びたはずだ！」

田田

「復活したんでしょうか？」

火る志

「そうだとすると

やつかいだなー他に情報は？」

田田

「「冷蛇」は海賊、  
子孫は中トロピカル島の  
モンキービレッジと  
スネークビレッジに  
住んでいます

モンキービレッジの

村人はサルを神の化身  
だと信じてサルをとても  
大切にしています

それと、この村は昔から海の神にいけにえを

ささげています」

火る志

「いけにえ？ 何のために？」

田田

「海の神に、いけにえをささげると津波が来ないそうです。他にも  
無病息災、豊作、豊漁、女子にモテモテになる等、ハッピー  
になるそうです」

火る志

「それだ！ 赤ちゃんを 船でモンキービレッジに運んで、  
いけにえにしているんだー！ アルコ・ジーマー モンキービレッジ  
へ急げ！ 赤ちゃんを救え！」

アルコ・ジーマ

「了解！」

同日、中トロピカル島のモンキービレッジで…

いけにえの儀式を 木のかげに隠れ見ているアル「ビジーマ  
ドン！ドン！ドン！ たいこの音にあわ  
せて 激しくおどる村人たち  
サルもおどる

アルコ

「サルに赤ちゃんを誘拐させて船で運んで  
いたんだな！」

ジーマ

「恐ろしい村だ！」

豚 「ブヒィーー、ギョエツー

豚は殺されるのがわかるのか？泣き叫ぶ！

血だろうか？

赤い液体が銀の器に  
たっぷり入っている

村人とサルに銀の器が  
まわされる。赤い液体を  
ゴクッ！ゴクッ！と  
飲む

村人たち

「ワツ！ハツ！ハツ！」

と大笑いして 激しくおどる

赤ちゃん

「ギャー！」

泣き叫ぶ赤ちゃん

泣いて暴れる赤ちゃんの  
手と足をヘビの皮で  
作ったヒモでしばる村長

村長

「許してくれ！」

村のためだ！」

母親

「ゴメンね！ゴメンね！

泣く母親

母親

「最後のミルクよ 飲みましょうね」

村長

「ダメだ！飲ませるな！海の神はミルクがキレイだ！」

付け始める村長  
海の神に、いにしえを  
泣き叫ぶ  
赤ちゃんの足を海に

赤ちゃん

「ギャー！」

泣き叫ぶ

たおげる時が来た

「ワツ！ハツ！ハツ！」

村長

激しく笑い、おどる

「もう！やめて！」

母親

村長のつまをつか

み、赤ちゃんを助けようと する母親

村長

「じゃまだーおまえも いつしょに、いけにえにしてやるつか！」

アルコ

「今だ！ジー・マ！

ジー・マ

「了解！」

んを 救出に向かう2人

それに気づく村長

村長は持っている刀を

ギュッ！とこぎった

村長

「はい！OKです！ 赤ちゃんがカゼひかないように、タオルで

良く拭いてあげて

下さーい！」

かたまるアル「どジー・マ

母親

「あーあー！やつと 終わった！パパ！何で うちの赤ちゃんな  
のよー

父親

「くじ引きだから

しうがないじやん！」

母親

「来年、またうちのパパがいけにえの役やつてよー。」

この村は本当に赤ちゃんをいけにえにしている わけではなかつた  
村まつりで行われる 海の神にハッピーを祈願する儀式だつた

そうなると古い帆船は サルと赤ちゃんを乗せとどくへ？

次の日、下校する 生徒たち。萌江戸北町のパン屋ード...

りある

「おーいー・ラブー！」

ラブ

「なーに？」

りある

「ラムネおいっつてやるよー。」

ラブ

「やつたー！」

2人でラムネを飲む

ラブ

「つある君の刀、見せてー。」

りある

「いじよー。」

ラブ

「つあるつて酔つてあるカッコイイ！」

りある

「おーい！ あい！」

あい

「何？」

りある

「ラムネおじいちゃんのよー！」

あい

「炭酸キライ！」

りある

「ラムネは炭酸じゃねーよー！」

あい

「じゃあ、飲むー！」

りある

「あいー！ ビンの底に  
ラムネの果汁が沈んでるから、よく振つて  
飲みなー！」

ラムネのビンを  
激しく振るあいー！

ラブ

「わあーー！ 振っちゃダメー！」

あい

「知つてるー！」

ベンチに座つてラムネを飲む3人

あいばジンの口にジグー玉がころがってきて、うまく飲めない。

りある

「口づけ」  
あい

「ううがつてへる  
しがし、何回もゼンのロジマー玉が

りある

「知ってるー！」

「」のビー玉、  
外に出ないの？」

二〇二〇年九月

あ  
い

「Jのビー玉  
かわいそう！ ずっと  
Jの申で… 外の世  
界に 出られなくて… 私と同じ！ もつ  
自由にして！」

ラムネのジンを地面に叩きつけるあい

# ガッシューン！

スゴい音がしてラムネのビンが割れた

「あいりちゃん！」

走り去るあい

ラブ

「あいちゃんは ラムネが炭酸飲料って 知らなかつたし、  
飲み方も知らなかつた いつたいどういう生活 してるんだろう?」

「ビー玉かわいそつとか私と同じとか、 事はわからんねーよ!」

りある

割れたラムネのビンを 扇づけるラブとつある  
ビー玉はビンの外へ出て自由になつたが割  
れて いた

次の日、北町改本部で…

火ろ志

「モンキービレッジでは本当に赤ちゃんを  
いきにえにしているわけではなかつた。早く3人の赤ちゃんを捜さ  
なく  
ては! サルが

幽霊船っぽい古い帆船に乗つたと情報があるー  
古い帆船の捜索をするー サブ、由里、シュー 出動だ!」

3人

「了解!」

萌江戸から船で30分の海上で…

サブ

「サルが船に乗った

なんて本当かよ?」

「つその情報かも

しれませんね」

シュー

「もう帰つましょ!..」

サブ

「あと2時間は搜さねーと帰れねー!」

シュー

「サブさん!」コーヒー 飲みますか?」

サブ

「あー!たのむ! シューの入れたコーヒーはうまいからな! さすが元パーティショ!..」

由皿

「パーティショ関係 あるかな?」

シュー

「どうぞ!..」

サブ

「うまい!」コーヒー豆を選ぶところからやつてゐるだけあるよ! 喫茶店やれば?..」

シュー

「それ! インスタントコーヒー です!..」

2時間後..

サブ

「帰るぞ!..」

由自

「サブさんーあれつ！ 帆船ですよー。」

シュー

「しかも古ーー！」

サブ

「オレも見えるー。 3人見えるって事は  
！ 捕まえて正体をあばくぞー！」

古い帆船に接近するサブたちの船

「止まれー改だー！」

静かに止まる古い帆船

サブ

「ひんなにあつせつと  
止まるのは怪しきぞー。 気をつカウー。」

船長

「事件ですか？」

サブ

「古い帆船が犯罪に  
関わっていると情報が  
ありましたー！ 船内を

船長

「どうぞーー！」

サブ

「由自ーシューー！

調べろー油断するなー！

由自・シュー

「了解ー！」

シューが古い帆船に片足をかけた

その時！古い帆船が  
急に動いた

「あつー！」

足が大きく開き海に  
落ちるシュー

## 三角のヒレが6、

二 見本

「サメだ！ シュードロープにつかまれ！」

血由

何方

「イルカでした」

5分後

シユ一

「ふつー！助かつた！ すいません！オレが海に落ちなれば捕まえられたのに！」

あのヤローが、わざと 船を動かしたから  
だ！」「気にするな！」

10分後、一隻の船が現れた。古い帆船を捜索する南町改たちの

船だ

古い帆船に接近する 南町改たちの船

きなわ

「止まれ! 改だ!」静かに止まる古い帆船

きなわ

「こんなにあつさつ

止まるのは怪しいぞ!

きなわ

「氣をつけろ!」

船長

「事件ですか?」

きなわ

「古い帆船が犯罪に 関わっていると情報が ありました!」

船長

「どうぞ」

きなわ

「はぶ! じいやー! 調べろ! 油断するな!」

はぶ、しこぞ

「了解!」

はぶが古い帆船に片足をかけた

その時! 古い帆船が急に動いた

はぶ

足が大きく開き海

「あつーー!」

に 落ちそぞになるはぶ

はぶ

「セーフー！」

古い帆船に乗り移つた、はぶとしいぞ  
しげさ

「動けば斬る！」

刀を抜くしいや

船長

「わかつた！」

しげや

「この船の名前は？」

船長

「CARNIVAL」（カーニバル）

STAR号

スター

48

しげや

「この船の所有者は？」

船長

「COFFEE

（コーヒー）

本社長です

SUGAR社の坂

しげや

「この船はいつ

作られた？」

船長

「15年前です」

しげや

「他に乗組員は？」

船長

「こません！」

船室を開けるはぶ

はぶ

「おこー！出でこー！」

乗組員A

「わあー！斬らないで！

はぶ

「他に乗組員は？」

乗組員A

「こません！」

「おこー！出でこー！」

乗組員V

「わあー！斬らないで！

はぶ

「他に乗組員は？」

乗組員V

「こません！」

はぶ

「おこー！出でこー！」

乗組員H

「わあー！斬らないで！

はぶ

「他に乗組員は？」

「いません！」

100%まだいる！

結局、

108人の乗組員がいた

古い帆船と乗組員は 萌江戸南町改本部で 取り調べを受ける事になつた

2時間後、萌江戸南町改本部で

古い帆船の船長を 取り調べてわかつた事は船長の名前がちょっと 怪しい！

船長の名前は

「都梨聰」

「となし さとる」

「となし」だから

「さとる」の

「と」を

なしにする

「さる」が現れた！

この船長が事件を起こしたサルと

3人の赤ちゃんを隠しているのか？

2月14日

教室で

バレンタインデー

萌江戸北町学校の

あい

「義理じやないよー。」

「アーチーを渡すあー

りある」

りある

「どりもー。」

ラブ

「わあーー。」

「義理じやないって事は 本命ーあんずちゃんの ライバル出現だー。」

あんず

「ラブちゃんー。」

声大きいよー。」

あい

「義理じやないよー。 ラムネのお礼ー。」

ラブ

「なあーんだー。 つまんないー。あーちゃんとあんずちゃんの ドロ、ドロした女の戦いが見られると感ったのに

あんず

「ラブちゃんー。」

渡してあげー。」

ラブ

「自分で渡しなよー。 その方が喜ぶよー。」

あんず

「恥ずかしいよー。」

ラブ

「わかつたよー！」

あんず

「あんずからつて

言わないで！」

ラブ

「「れーある女子からー」

りある

「どりもー」

あんず、りある、ラブと

並んで自分の席に座つてゐる

ラブ

「あんずちやん！

りある君壇んでたよー」

あい

「ラブちやん！

りある君に聞いえてるー

まみ

「龍様に手作り

チヨコあげちやおーー

K

「失敗チヨコ！龍様 かわいそつー」

L

「むめのチヨコ！ オバさんクサーーー！」

地味！ 昭和40年代のニオイがブンーー！」

むめ

「「はチヨコ！」

万引きしましたー！」

M

「りゅう様が、

もものチヨコだけ

捨てたつて！」

もも

「捨てないもん！」

「りゅう様ももに

優しいもん！」

K

「りゅう様は、みんなに優しいの！」

江戸時代の某日、

シベリアの永久凍土の町で…

雪が降る夕暮れ

若

「じい！なぜ逃げる？」

じい

「捕まるとイヤがらせ  
されます！」

若

「どんな？」

じい

「コンビニの  
レジでプリンを

倒されたりします！」

若

「じい！逃げるぞ！」

火付盗賊改の男

「いたぞーー！」

じい

「若様！この穴に入つて下せいー！」

穴の中に入る若と若のペットのポチ（サ

ル）

5分後…

火付盗賊改の男  
？」

刀を抜くじいー  
じい

「ギャーーー！」

じいは首を切断された

穴の中で…

若

「ポチ！ 寒いぞ！」

ポチ（サル）

「キイーーー！（オレは毛皮だから暖かいよーーー！）」

若

「そつかー寒いのか！ かわいそつかーーー！」

ポチ

「キイーーー！（テメーー！ このガキ！ ホツペタ くつつけんじや  
ねーよー！ 暑いんだよーーー！）」

穴に雪が降り積もる

若とポチ（サル）は寝てしまった

誰か起こしてあげて！

死んじゃつよー…

勝校長の自宅のベットで…

勝校長

「じい……若様…

ポチ（サル）…ま

た、

同じ夢を見た！」

次の日、萌江戸北町学校の校長室で…

校長室に客が1人

冬葉博士

「元気そうですね！若様！じいとポチ（サル）は元気ですか？」

勝校長

「若様？じい？ポチ？  
どこかで聞いたような？

あっ！夢で何度も 見ている！」

冬葉博士

「校長が何度も見ている夢は実際に校長が  
校長は若様です！」

体験した事です！

勝校長

「冬葉博士がシベリアの永久凍土で氷づけになっていた私を蘇  
らせてくれたんですね！ ありがとうございました！でも、な  
ぜ冬葉博士は私を蘇らせたあと私を置いて行ってしまったのです  
か？」

冬葉博士

「あの時はシベリアで マンモスが氷づけになつていると連絡  
がありシベリア行きの飛行機に乗つた  
そして機内食が配られたその機内食のハンバーグの上にチーズがの  
つていたので、

スチュワーデスに

チーズは食べないから 他のモノをのせて

くれ！と言つた

勝校長

「チーズはキレイですか？」

冬葉博士

「イヤ！機内食の前に スチュワーデスに 電話番号を聞いたが  
教えてくれなかつたので、ちょっとイヤがらせを…  
そしてスチュワーデスがチーズの代わりに  
ハンバーグの上に何かをのせようとした、

その時！  
して、

家に帰れなくなつた 話は変わりますが  
ります！」

飛行機が空中分解

たのみみたい事があ

勝校長

「何でしちゃうか？」

冬葉博士

「研究費を少し貸して 欲しいのですが？」

勝校長

「いくらですか？」

冬葉博士

「1000万萌円です！」

1000万萌円＝

1000万円

「2、3日考えさせて 下さい」

話も終わり冬葉博士は 帰ろうとしてドアを開けた

冬葉博士

「あつー！ 言い忘れた事が一つありました！ あなたの居場所がわかる追跡装置と あなたの命を奪う 殺人装置をあなたの体に埋め込んでおきました！ その装置を作動させる リモコンは私が持っています！」

次の日、萌江戸北町学校の教室で、

生徒たちと給食を食べる勝校長…

まみ

「校長先生は先月、地震で被災した萌愛媛県に 義援金を送つて、連休にボランティア活動に行つたんですよね！」

私、尊敬します！」

「私は、ちょっとやつているだけだよ。ところで、このクラスはどんなクラスなの？」

大学生

「はい！ 今回の 期末テストにおいて、男子の数学のアベレージは他のクラスより 3・6点高く学年で1番でした

これは前期末テストに おいて数学が学年で2番だった事を受けて担任の金・ニック先生が数字の応用問題のレベルを 6から8に上げ

勝校長

「スープが冷める！」

ラブ

「幽霊船は本当に

いるんですか？」

勝校長

「土曜日に出る  
船の事ですか？」

ラブ

「土曜日に出るって  
決まってるんですか？」

勝校長

「それは、うわさで…

クラスメイドールの  
桜子君が早く退院できるといいですね！」

ラブ

「なぜ？  
？」

勝校長

「それも、  
うわさで…

萌江戸アマチュアバンドコンテストで優勝できるといいですね！」

ラブ

「なぜ？  
？」

コンテストの出場の事を知ってるんですか？」

勝校長

「それも、うわさで…」

勝校長は冷めたスープを  
ゴクッ！と飲みほした

第777回！  
会場で…

萌江戸アマチュアバンドコンテスト當田の

主催者は「コーヒー

シユガード社

猫

「ドキドキして

眠くなつてきたー。」

「コンテスト終わつて

から寝ろー。」

魔心

「優勝しなうなバンドは演奏できねーから、さういつばくしておつか?」

「やめてよー!」

」

「そうこうのー私たち出場できなくなつたよー。」

」

「まみがいつしょだと  
テンション!」

まみ

サゲ サゲ

「

「うちはのけりフー!」

」

「むめのバカがいると ヤダ!」

むめ

「ー!消えちやえ!」

」

「ももー!りゅう様が  
ももばバンドに

必要ないって言つてゐー。  
もも

「言つてないもん  
りゅう様、ももー  
優しいもんー」

K

「つゅう様は、みんなに優しいのー！」

まみ

「あー！アレ！桜子じゃない？」

むめ

「桜子は入院してるはずだよー！」

まみは桜子っぽい女子の所に行つた

まみ

「桜子ー！いつ退院したの？」

桜子っぽい女子

「私はチエリーです！」

スーツの男

「ちょっと困ります！

インタビューアは事務所を通して下をこーーー

まみ

「すいませんー！」

みんなの所に戻るまみ

まみ

「桜子じゃなかつた！ チエリーちゃんだつた！

戸江萌

「そりゃそりだよー！桜子は入院してるんだもんー！」

」

「でもチエリーちゃんつて桜子にそつくりー！」

猫多

「似てるけど、桜子よりパツチリー重ー！」

K

「桜子がプチ整形？」

あんず

「似てるけど、桜子より鼻が高い！」

K

「桜子がプチ整形？」

もも

「似てるけど、桜子よりムネが大きい！」

K

「桜子がプチ整形？」

魔心

「それだけ整形やつてるとプチって言わねーよ！」

司会者

「次のバンドは

C H E R R Y

( チェリー )

S O D A

です

桜子に似ているチエリーがヴォーカルのバンドの演奏が始まった

大学生

「スゴい！プロみたい！」

戸江萌

「あのギター！」

プロが使ってるやつだよ！高いよ！」

まみ

「そう言えばチエリー

ちゃんの所に

言った時、スーツの

男の人が事務所とか

言ってた！」

「プロなのかな？」

あんず

むめ

「でも、このコンテストはプロは出場できないはずよー!」

戸江萌

「チヨリーソーダが優勝だな!」

魔心

「勝負は、やつてみねーとわかんねーよー!」

ラブ

「そうだよ! いっぱい練習したん

だもん! ガンバレ

! クラスマイドール

あんず

「わあー! 次だよー!」

司会者

「次のバンドは クラスマイドールですー! びつぞー!」

62

ステージに登場した

クラスマイドール

ヴォーカル…ラブ

あんず

ドラム…戸江萌

ギター…龍

ベース…竜

キーボード…りゅう

コーラス…まみ、むめ、もも

ダンサー…K、L、M

ダンサー…猫多、魔心、大学生

クラスメイドールの メンバー全員で作った曲を歌い演奏し始める

曲名

「たかが家族！」

されど家族！」

ドレ//ー・ドレ//ー・

ドレ//ファー・ファ//コー！

うらぎわらぎない！

明るい家族！

ファミリーは

楽しい家族！

しあわせ家族！

GO! GO! GO!

たかが家族！

されど家族！

ペットのネズミよつ

チューがつまい中2の妹

今の子はみんなつまい！

ペットのタヌキより

タヌキ寝入りがつまい父

いづかいは母さんに

もらえ！

ペットのクジラが潜る

海の深さより深い母の愛

いけど！

朝めしは作らな

家族会議で決定！

家族旅行で撮影！

家族写真を現像！

俺だけ目を閉じてる！

目を閉じれば思い出す！

家族の笑顔！

ペットのトカゲの  
しつぽよりキレる兄

すぐキレる！

ペットのゾウの角質より確執がある嫁と姑  
あなたのミソ汁

ショッぱいわ！

ペットのカメより長生き

おじいちゃん

今年で111歳！

年上の彼女募集中！

何も見なくても！  
何も聞かなくても！  
何も言わなくても！

わかりあえる！

信じあえる！  
助けあえる！

それが家族！

だから家族！

A B C ! A B C !

A B C D ! D N A !  
D N A はつりきらない！

明るい

家族！

楽しい家族！

しあわせ家族！

GO ! GO ! GO !

たかが家族！

家族！

されど家族！

やがて、

クラスメイドールの

歌と演奏が終わった

ホツーとする

クラスメイドール

やがて、

コンテストに出場した

108組のバンドの

すべて終わった

審査員が優勝バンドを

決定するためには、

別室に移動する

15分後…

司会者

「おっ！とづか情報が

そうです！

優勝したバンドは

萌江戸でCDデビュー

できます！」

ラブ

「アキデキする」

魔心

「優勝は

クラスメイドールです！

ラブ

「わあー！びっくりせないでよーーー！」

魔心

「メハニカ・メハニカ・ニキ・ミカ・メハニカ・」

司會者

優勝は

觀客

觀客

卷之二

「アメリカン

ジークです！」

K

いらぬ——い！

214

「発表します！」

司会者

優勝は

卷之二

觀客

- ๗๙๖ -

## 拍手の嵐

戶江萌

「やりますなー。」

K

「来年がんばろう！」

ラブ

「うんー！」

観客

「コレー・アマチュアの  
コンテストだろ？」 チェリーソーダってプロじゃね？」  
チエリーソーダは プロだと会場のア  
チコチでざわつき始める！

観客たち

「やり直し！  
もう一回…やり直し！  
もう一回…」

会場が大騒ぎになり

審査員が集まり何か相談している  
司会者

「優勝が  
もう1組あります！  
クラスメイドールです！」

観客

「おめでとうー！」

拍手の嵐

猫多

「終わつた！  
これで眠れる！」

某日、萌江戸北町学校の教室で…

K

「夏まつつの集合時間どつする？」

L

「6時?」

K

「OK! 6時ね!」

戸江萌が来た

戸江萌

「集合時間は?」

K

「10時!」

戸江萌

「夏まつり  
終わつてね?」

同曰…

赤ちゃんの誘拐に 関わつたとして

捕らえられた古い帆船の乗組員たちは証拠不十分で釈放された

今も3人の赤ちゃんと サルが乗つたとみ  
られる古い帆船は発見されて いない。それにサルと  
サルを操つていると

みられる人間も捕まつていない

夏まつりの日、

萌江戸北町改本部道場で…

海雪の代わりに小雪を 夏まつに連れて行く事になつたラブ

海雪に、ゆかたに髪型にヤシナリのラブと小雪

「ハハハやつ悪いわねー男の子もこいつよ なとでしょー.」

ラブ 「まだ、わつこのこないからー」

夏まつは会場で…

ドンードンーペーペーヤリラリ...

まつまつやしがまつりを盛り上げる

つんじアメを食つて、萌こきなつドザート

かよー

ラブ

「つある君ー」

りある

「よつー.」

ラブ

「あんずちゃん  
見なかつた?」

りある

「うさ」

あんず

「つあるーーん!」

ラブ

「ラブー無視されたー!」

あんず

「あつ！ゴメン！

りある君しか眼中に

なかつたのーりある君 ゆかた似合つねー」

りある

「女子たちも  
似合つてるよ！」

あんず

「何分待つた？」

りある

「1時間

あんず

「えつー！そんなに！」

りある

「オレ女子待たせねー

タイプ！」

ラブ

「えつー！2人デートなの？」

あんず

「うん！」

ラブ

「付き合つてたんだ？  
2人？知らなかつたー！」

りある

「ちがーよ！

オレが用務員の仕事で、授業受けらんねー時、

あんずが何回も

ノート取つてくれて

世話になつて、それで

デートの誘い

断れなかつた！

ラブ

「あつい！あつい！  
お似合いのカップル！」

小雪

「あつい！あつい！

あんず

「うれしい！」

りある

「全然うれしくない！」

泣くマネをするあんず

ラブ

「あんずちゃん  
泣いちやつた！

りあるねじりするの！？

「はい！はい！ボクも うれしいです！」

りある

たこ焼きを食う戸江萌

粉もんスキ！魚介類スキ！だから！

たこ焼き大スキ！

夏まつりは！まだ！まだ！続くよ！

射的で…

魔心

「あたつたー！みんな！見たよな！早く景品くれーー！」

店の人

「たなから落ちないと

ダメ！ダメ！」

魔心

「あんな重てーの  
落ちねーよ！」

だんぐ

「どうしたの？」

だんぐ＝身長2メートル99センチ

5つ子の次男。バスケ部

魔心

「あのー！金色のこけしのライター欲しいんだよー！あれでタバコに  
火つけてんだよー！」

だんぐ

「渋すぎるぜー！魔心！」

魔心

「だんぐー！カネ払うから、アレー落としてくれー！

だんぐにカネを払う 魔心

店の人

「あーーーお客さん！ 鉄砲で景品をつづつくのはダメー！ダメー！」

だんぐは身長2メートル99センチ

店の人気がつるさいので、だんぐは、つづ

くのをやめ景品の0・01ミリ 前から鉄砲を撃つた

パンツ！ ハンツ！ 弾は

金色のこけしのライターにあたつた。しかし、びくともしない

魔心

「やつぱー重いわ！ だんくーダメだつたんだから力ネ返してくれ！」

ダッシュで逃げるだんく

くじ引きで…

くじ引きの店にいろいろな景品が並んでいる

大型テレビ、バイク

金色のこけしのライター

ラブのクラスの

5つ子登場！

ぱす

「やつたーーー等賞だ！

カラーン！カラーン！  
店の人々が鐘を鳴らす！  
盛り上がる会場！

だんく

「大型テレビか？」

しゅうと

「バイクか？」

りんぐ

「金色のこけしのライターか？」

「おる

「デキデキするぜー。」

店の人

「1等賞！

おめでとー！」

ぱす に景品を渡す店の人  
ぱす

「1等賞が

ティッシュ 1箱かよー！」

くじ引きの店から、 ちょっと離れた所で 人だかりができる  
いる

サルまわしだ

サルが竹馬に乗り走り まわっている

楽しそうな見物客たち

突然！サルが竹馬から 飛び降り、サルま  
わしの耳に口を近づけ、 ナイショ話をするマネをする

サルまわしの正巳

「何？何？拍手が  
足りない？みなさん！ 拍手をお願いしますー！」

笑いながら拍手する 見物客たち

竹馬で走りまわるサル

突然！また、サルが 竹馬から飛び降り  
サルまわしの耳に口を近づけ、ナイショ話をするマネを

する

正巳

「何？何？ヒザに爆弾を抱えているので、もう！竹馬には乗れない  
？！ スポーツ選手かよー！」

焼きそばを食う戸江萌  
めん類も大スキ！  
香ばしい！ソースの香り

金魚すくいで

桜子

「ラン君、金魚すくい  
初めてよね？」

ラン・ホーム

「オー！ イエス！  
ラッコサン！」

ラン・ホーム

交換留学生で野球部の 助つ人外国人

桜子

「私の名前はさくらこー！ ラッコはやめてよ！  
それと読者が読みづらいからカタカナやめてね！」

ラン・ホーム

「オー！ イエス！  
ワカリマシタ！」

桜子

「今！ 注意した！  
ばっかだよ！」

まず、大君が見本を  
見せるからラン君よく  
見てね！」

大学生

「えーと、数式に

あてはめると金魚がX、ポイがY、水面がZ、  
そうしたら放物線を描くように…」

桜子

「大君！ポイに

大きい穴が開いてるけど！」

大学生

「これはですね…つまりXがYと等しい角度の時…いやZの数値が

…」

桜子

「やめろー！」

ラン・ホームが手で金魚をすくつてこる！

桜子

「やめろー！」

そこへラブたちが来た

小雪

「ラブおねえちゃん！ 金魚すくいやりたいな！

ラブ

「うん…やるうね！」

小雪

「どうやるの？」

大学生

「ボクが見本を

見せあげるよ！えーと…金魚がX、ポイがY、

それから…」

桜子

「やめろーーー！」

猫多が来た

桜子

「猫多君ーー小雪ちゃんに金魚すべこの見本見せてあげてよーー！」

猫多

「うんーーこなーーでも その前に眠くて  
集中できなーいから家で 寝てきていーー？」

桜子

「うーーひーー！」

あんず

「あんずがやつてみるーー！」

猫多

「ちよーと待つたーー猫多の名にかけて魚関係は  
ゆずれないーー！」

桜子

「眠かったんじゃなーいのーー？」

猫多

「起きるーーあんずひやんーー勝負だーー！」

猫多／＼あんず

桜子

「金魚すべくい対決！

よーーー！スタート！」

猫多はすばやい反射神経で次々と金魚をすくつしていく

猫より睡眠時間が多い男だからできる技だ！

あんずも猫多と同じ くらいのスピードだ！  
あんず！おまえも猫より睡眠時間が多いのか？

チラシ！とあんずを見る 猫多

そして獣が覚醒したかのような身のこなしで

次々と金魚を  
すくつしていく  
速い！速い！

ラン・ホーム

「オー！  
ファンタスティック！ スシ！サムライ！  
チヨンマゲ！  
フクロトジ！」

チラッ！と猫多を見る あんず

「速けりや いいつ

て もんじやないのよー！ その証拠にホラッ！ 猫多君のポ  
イに穴が  
開いてきた！  
アレじやー！  
もう終わりよー！  
アツ！ハツ！ハツ！

高笑いするあんず

あんず

「ソレーネー！」

次々と金魚をすくこ自分に酔つてこるあんず

小雪

「あんずおねえちゃん どうしたの？」

ラブ

「小雪おひやー」

あんずおやんと皿を

合わせちゃダメ！」

猫多のポイは大きい穴が開いて終了

あんず

「猫多君ー何匹？」

猫多

「16匹ー」

あんず

「あーあーー

あんず15匹ー」

桜子

「猫多君の勝ちー」

小雪

「あーあーー

あんずおねえちゃん 負けちつたーへしゃーーー！」

ラブ

「あんずおひやーん！

スゴいー！四の差

だもん引き分けと

いつしょだよー！」

あんず

「ラブちゃん、

なぐさめてくれて ありがとう。だけど勝負の世界では負けは死を 意味するのよ！ 特にプロの世界では…。  
あんずちゃん家庭で何かあったの？ つていうかあんずちゃん金魚すくいのプロなの？

再び金魚をすくい始めるあんず。まだポイはやぶれていなかつた！

あんず

「猫多君は16匹だつたよね？はい！16匹田…すくつた！

これで引き分け！  
アツ！ハツ！ハツ！

高笑いするあんず

ラブ

「小雪ちゃん！  
あんずちゃん」と田を合わせちゃダメ！」

あんず

「上には上がこるって事！猫多の脳裏に焼き付けてやる…」

ラブ

「あんずちゃん…」

あんず

「次…17匹田…はい！すくつた！これであんずの勝ちね…」

ラン・ホーム 「アンビリーバボ

ー！ スシ！ミソスープ！ トノサマ！フクロトジー！

あんず

「最初から結果がわかっている勝負ほど退屈なモノはないわ…死にたくなる…」

猫

「負けた！」

小雪

「やつたー！あんず  
おねえちゃんが勝つたー！」

桜子

「ラン君…金魚すくいのやり方わかつたでしょ？…やつてみる？」

ラン・ホーム

「オー！ イエス！  
金魚すくい楽しいです！ 友だち連れて来て  
いいですか？」

桜子

「いいけど、友だち  
どこにいるの？」

ラン・ホーム

「アメリカです！」

桜子

「夏まつり終わるわー！」

金魚すくいの店から

ちょっと離れた所で…

人だからできていい

ヘビつかいだ

ピィー！ヒヤラ！

リーリー！リー！

ふえの音に合わせてカゴの中からヘビが出て来た

ピィーーーんと棒のよろこびに立ち前後、左右に頭と体を動かしている

ヘビつかいのサルージャ

「このヘビには猛毒が あります！かみつかれるとゾウでも3秒で死に ます！」

サルージャが手や顔を ヘビに近づければ、

かみつかれる寸前で かわす！

小雪

「ギャー！危ない！

サルージャ 「猛毒のヘビでも、  
いいのです！」 かみつかれなければ

見物客が拍手して 盛り上がる  
りある

「あれだけ？おもしろくねーなあ！」

猛毒のヘビの動きが 激しくなった！  
サルージャ 「ギャー！」

猛毒のヘビがサルージャのノドにかみついた

小雪

「キヤー！」

## 猛毒のヘビは、

かみついて離れない！

る  
サルージヤ

一  
ジヤ

## 静かになる見物客たち

「おー！」

だいじょ「ぶかー?」  
にある

サルージャは、ぐつたりして反応がない！

卷之三

ピクリともしない  
サルージヤ！

小雪

「わあー！死んじゃつたよー！」

一ノ瀬さくら

かみつかれたらゾウでも3秒で死ぬ猛毒の

ヘビ  
たもん！

30秒後

「ハイ！だいじょうぶ！」

りある

「ハイ！」

だいじょうぶ！

しゃね！ よ！ テメー！

かみつかれるビヅウでも3秒で死ぬんだろ！

あのベビー!?

サルージャ  
ません

りある

「びっくり! わせんなんよ!」

サルージャ

「こうでもしないと、  
おもろくないと、  
お客様がいますので!」

焼きとうもろこしを

食っている江萌

畠系も忘れずに!」

香ばしい!

ショウガの香り!

セクシー系3人組!

K、L、M、登場!

「イケメン

いないかなあー?」

K

L

「あれつー!」

M

「キヤー! 3Dよ!」

3Dを追う3人

「ウソです! あのベビにはキバと毒があり

## 癒し系3人組！

まみ、むね、もも登場！

まみ

- 379 -

前から来る3Dを  
発見した癒し系3人組！

シマヤマを黙り玉た テイボンのゆく

前から、うしろから3Dに急接近する女子6人！

うごきつかまつた  
答自方へなまつた

1178

「まみ！ 龍様イヤ

三

ヤカでなしもん!

卷之二十一

卷之三

もも！りりこ様が 満々として言つてゐる！」

卷之三

「そんな事無いで

「りゅう様はみんなに  
優しいの！」

—あれー！見て！

戸江萌も2人の女子は、ここでを一がまれて

いる

むめ

「萌江戸の七不思議の  
1「口田ねー。」

まみ

「2「口田は?」

むめ「あとで教えるー。」  
もも「あの子たち知ってるー。モテルやつて  
るよー。」

戸江萌「どうもー。」

K「ドMつて以外と モテるんだね!」  
まみ「知らなかつた!」  
「ドMを少し見なおしたー。」のバカ!」  
むめ「ドMがちょっと、かつこよく見えて  
きたー。むめのバカ!」

戸江萌

「やつぱー。最後! 男は口口でしょー。」と

ムネをポンッ!と叩く!。

M

「カルビ?」

戸江萌

「ちがい?ー。」

もも

「大トロ?」

戸江萌

「ちがい?ー。やつぱー。最後! 男はハートでしょー。あーあつー。はりく  
つた! 何か食べるか?」

モデル口

「おにいちゃん! 食べすぎだぞー。」

モテル三

「メタボッちゃんつぞー。」

K

「おにこちゃん?」

L

「あなたたちドMの 妹さん?」

モテル口

「はい! 1つ下の双子の妹です!」

まみ

「ドMにこんな カワイイ妹さんがいる とはーしかも2人  
もー。」

むめ

「それが萌江戸の 七不思議の2回目ー。」

もも

「ドMに彼女なんて  
おかしいと思つた!」

K

「まみ! あなたたちが いるとイラシーとして ムカつくの! 3本  
勝負 して勝つたチームが3Dといつしょに  
てのぞい?」 まみ  
「望むどこのよー!」

勝負! 1本目!  
ヨー ヨー つり!  
M対もも! -

M

「M、三一三一つい、初めてなんです！」

りゅう

「水にぬれると、糸が切れちゃうから水面の近くの「ぐぐ」の輪を狙つてね！」

M

「はーーー…やつたーー！」

M、1口つれた  
ももは1口もつれない

セクシー系チーム1勝！

勝負！2本目！

射的！

し対むめ！

むめ

「むめ、射的初めて

なんです！」

「軽い景品を狙えれば

竜

落ちるよー！」

むめ

「はいー！」

パンッ！コンッ！

鉄砲の弾が景品にあたり、たなから落ちた！  
むめは景品1口獲得して終了  
プレッシャーがかかる」

「助つ人！だんく君！」

」

「トル99センチ！」

鉄砲で景品をつつつく だんく！身長2メ

「するーい！自分で

むめ

「いいーじゃない！ やつてよ！」

「いいーじゃない！

野球だつて助つ人外国人とかいるし！ネー

！」

ラン・ホーム

「ネー！」

「ネー！じゃねーよ！

むめ

引つ込んでよ！

助つ人はダメ！

だんく君は

コレは女子の戦い  
なんだから！」

「もう、助つ人の

バイト代、払っちゃたし！」

むめ

「だんく君！

バイト代返しなさいよ！

」

「わかったわよ！ だんく君、

助つ人やらなくていいよ！バイト代返して！」

ダッシュで逃げる  
だんく！

自分で射的をやる」

」は景品を1「も

獲得できなかつた

癒し系チーム1勝！

現在、両チーム1勝1敗

次の勝負で勝つたチームが3Dといつしょに

いられる

勝負！3本目！

金魚すくい！

K対まみ

K「K、金魚すくい 初めてなんです！」

「水をすくわないで、

そーとね！」

龍

K「はい！…やつたー！」

まみ

「全然ダメ！金魚！  
自分から器に入れ！」

Kは1匹すくつて終了

まみ

「むめーももーこのままじや負けちやうー！」

泣きそつな、まみ

むめ

「まみ！助つ人、

連れて來たわ！」

店の人

「あつ！女子プロ」

あんず

「全部あくつてやる」

ラブ

「小雪ちゃん！」

あんずちゃん」と田を  
合わせちやダメ

」

「むめー…さつき助つ人はダメー…って言つたわよね？」

むめ

「言つてませーん！」

」

「じゃあー射的の シーンに戻つてみるー」

むめ

「はーー！はーー！

言いましたーあんず！ 助つ人ダメだつて！ バイト代返してー！」

ダッシュで逃げるあんず

まみが1匹すくえれば 引き分けだ

まみ

「あつ！穴が開いてきた最後のチャンス！  
やるしかないわ！」  
つけるまみ

1匹の金魚に狙いを

「あつー！」

ポイの上で金魚がはねた

水面に向かつて落ちて  
いく金魚！

「負けちゃった！」  
まみ

悲しい…3ロードマーク できない…」

龍

「セーフ！」

龍が落ちてきた金魚を

器で受け取った！

これで両チーム金魚を  
1匹づつくえ引き分け

3本勝負の結果は  
両チーム

1勝1敗1引き分けで  
引き分けだ！

K

「龍様が金魚すくい

少し手伝っちゃたけど…」

龍

「女の子だから少し、  
おまけしてあげて 下さいね！  
まりますよ！みんないつしょに見ましょうねー」  
そろそろ花火が始

K

「やつこいつどこスキー！」

夏まつりの次の日

萌江戸北町改本部道場で

海雪

「ラブちゃん！ もののひは小雪がお世話になりました！  
コレはお礼よ！」 かんざしをラブに

プレゼントする海雪

ラブ

「わあー！ キレイ！ ありがとうございます！ 大切にします！」

同日、午後、同所で…

剣のけいこをする改たち

火ろ志

「うつ！ ゴホッ！ ゴホッ！」

急に激しく咳込み

血を吐き倒れる火ろ志

アルコ

「頭！ しつかりして

下さい！」

応急処置をするアルコ

病院で…

オペスキーメンバー  
「奥さんだけに、  
お話ししますが、

血を吐いたこの病気は  
一生治らない… 3ヶ月の…」

あゆめ

「えつ！」

火ろ志はオペスキーメンの話を聞いてしまった  
薬のせいか、  
スグに

眠りに落ちる火ろ志

1時間後…

ラブ

「父上！」

泣くラブ

火ろ志

「母さんとラブを  
もっと遊びに連れて  
行けばよかつたな！」

ラブ

「ラブは道場で  
いっぱい遊んでもらつたから気にしないで  
ね！」

火ろ志

「私はもうダメかもな？」

ラブ

「ラブは学校やめて  
働きます！」

野獣のように強い父が 弱々しくベットに

横たわつているのを見た瞬間、

女子とか学生とか

猫舌とかの、両親に 甘えるためのいいわけは全部ふつとんだ！

ふとんがふつとんだ！ みたいに！

火る志

「ラブは何も心配しないで学校へ行きなさい」

ラブ

「だけど…」

あゆめ

「お父さんの  
言つ通りよ！」

ラブ

「はい！

わかりました！」

次の日、萌江戸北町学校の教室で…

ラブ

「あの…話しひくいんだけど…」

あんず

「友だちでしょうー何でも話してよー」

ラブ

「あの…お金貸して

あんず

「朝から重いよー

ラブ

「じゃあ保証人に

なつて!」

あんず

「もつと重いよ!」

ラブ

「じゃあ、実印貸して!」

あんず

「実印はまだ  
作つてないよ」

ラブ

「いい象牙が入荷した ハンコ店、ラブ知つてる。それで実印作つ  
てよ! あんずちゃん!」

あんず

「ムリだよー!  
実印を他人に貸したら 生き地獄だよ! お金いくら必要な  
の?」

ラブ

「あんずちゃんが貸せるだけお願ひします!」

あんず

「今月、あんずも  
苦しいんだ」

ラブ

「そつか

あんず

「アルバイトは?」

ラブ  
「ラブ  
不器用だから……」

次の日、萌江戸北町学校の教室で……

あんず  
「ラブちゃん！  
いいアルバイトあるよー・面接行ってみる？」  
ラブ

「行つてみようかな？」

あんず

「コレ！地図！  
がんばってね！」

ラブ

「ありがとうー！」

クラスメイドール萌江戸北町店で……

ラブ  
「『コだードキドキするー』

がんばれー・ラブ！

ラブ

「失礼します！

面接をお願いした

ラブです！

オーナー

「どうぞ…」

ラブ

「はい！失礼します！」

オーナー

「アルバイトは  
初めてですか？」

ラブ

「はい！初めてです！」

オーナー

「おこづかい足りないんですか？」

ラブ

「はい！」

オーナー

「いつから働けますか？」

ラブ

「今日から働けます！」

オーナー

「採用します！」

ラブ

「ありがとうございます！」

オーナー

「 まづ、研修をしますー。」のお店の制服に着替えて下せー。」

10分後…

オーナー

「 研修を

始めます。ラブさんは お客様の役をして下せー。一度、お店の外へ  
出て、再び入つて来て下せー。」

ラブ

「 はーーー。」

店から出て再び  
店に入るラブ

店員

「 お帰りなさいませ！  
お嬢様！」

ラブ

「 あつーー。」

あんず

「 ラブちゃん！

採用おめでとうー。」

あんずは、

この店の  
カリスマ店員だった！

オーナー

「 自分のおんずかいの  
ためじやなかつたのねー。お父さんの入院費のためだつたのねー。  
この子つたらウソついてー。あんずちゃんから

聞いわ！お父さんが早く退院できぬといいわね！

ラブ

「オーナー！」

ありがとうございます!! あんまりません!!

あ  
ん  
す

あたつまえだよ！

「ずっと友だちでいてねー！」

卷之三

!

「ハーバード」

本物のお客様

ラブ

「かし！」まりました！

主人公！

ラブがアルバイトを始めて1週間たった日

ラブの自由で…

## 今日、退院した火ろ志

火ろ志

「まだ、死ねない！ラブの結婚式に出席して孫とキャッチボールして孫の結婚式に出席して

それから……

あゆみ

「あなた何歳まで生きるのよ？」

火る志

「八宝菜！」

あゆめ

「今日はお父さんの退院祝いに外へ食べに行きましょう！」

ラブ

「やつたー！」

火る志

「ラブ！何が食べたい？」

ラブ

「八宝菜！」

ワツ！ハツ！ハツ！と

大笑いする3人

大洗の町じゃないのに…

茨城県の人にはうけるんですけど…

次の日、萌江戸

北町改本部で…

萌江戸でサルが3日連続、1日に1人づつ  
た事件は、今も未解決だ！

サルが

乗つたとみられる

古い帆船と3人の

赤ちゃんは発見されて

いない

それに

事件を起こしたサルと サルを操つていると  
まつていないと

みられる人間も捕

この事件の捜査を続ける火る志たち

火る志

「江戸時代の犯罪組織の  
「冷蛇」は赤ちゃんを  
サルに誘拐させて売つてたんだよな?」

田田

「はい!」

火る志

「冷蛇は江戸時代に  
滅びたはずだ!」

田田

「復活したんでしょうか?」

火る志

「冷蛇は海賊、  
サルまわし、ヘビつかいもやつてたんだよな?」

田田

「はい!」

火る志

「アルコ・ジーマー サルまわしを捜査してくれ!」

アルコ・ジーマ

「了解!」

火る志

「シュー! 由由!」

ヘビつかいを捜査して くれ!」

シュー・由自

「了解！」

同日、サルまわしの家で…  
夏まつりに来ていた サルまわしの男の家だ！

男の名前は正巳 (まさみ)

巳=み=ヘビ=冷蛇？

サルといっしょの正巳

冷蛇は犯罪に サルを使う…怪しいぞ！

アルコ

「サルの事件の事で少しお聞きしたいのですが？」

正巳

「どうぞ…」

家の中に入るアルコと ジーマ

正巳

「私はただのサル

まわしです！」

体長3メートルのサルが正巳の首をギュー

！と しめている！

冷蛇王のたたり？

正巳 「私は…グエー！」

口から血を流し

体長3メートルの

青い顔の正巳

サルは、もっとギュー！とした

首がガクツ！して 意識不明なる正巳

何もできなかつたアルコとジーマ

同日、同時刻、

ヘビつかいの家で…

夏まつり來ていた

ヘビつかいの男の家だ

男の名前はサルージャ

ヘビつかいの

ヘビ=冷蛇？

冷蛇はサルを犯罪に使う！

サルとサルージャ！

怪しいぞ！

シュー

「サルの事件の事で少しお聞きをしたいのですが？」

サルージャ

「じうぞー。」

家の 中 に 入 る

シューと 由由

サルージャ

「私はただのヘビつかいです！」

体長10メートルのヘビがサルージャの体

に 卷きついてギューーーと しめている

冷蛇王のたたり？

サルージャ

「私は…グヒーー！」

青い顔のサルージャ！

！と した

口から血を流し

体長10メートルのヘビは、もつとギューー

首がガクツ！として 意識不明になる

サルージャ

何もできなかつた

シューと由自

次の日、萌江戸北町の コンビニで…

サブが勤務中にベンチでタバコ吸つて、コーヒー飲んで、マンガ本を読んでいる

ラブ

「あつー！サブさんか  
思いつきりサボつてる…本部応答せよー…」

サブ

「わあー…ちよつと

待つた！アイスおごるー家まで送るー。」

ラブ

「許す！」

サブの車に乗るラブ

ラブ

「サブせーん！

ちゃんと仕事してよ！副頭なんだからー。」

ふくかじら  
副頭<sup>II</sup> 副隊長

サブ

「はい！はい！  
ラブお嬢様！」

髪に タスクラブ

ラブ

「キヤ！ハツ！ハツ！  
うけるんですけどー！」

かんざしをサブの

サブ

「はい！はい！  
うけます！うけます！」

火ろ志  
「強盗事件発生！犯人は黒のスポーツカーで  
萌江道3号線南下中！」

火ろ志  
「萌江道3号線北上中！犯人をはさみます！」  
信号無視をして逃げる 犯人！  
横断歩道に

火ろ志  
「右折した！萌江道  
17号線を西へ  
向かってる！」

高校生のカップル！  
あぶない！

アルコ

「萌江道3号線北上中！犯人をはさみます！」

「17号線を西へ  
向かってる！」

犯人

「こつちはプロですよー！」

窓から手を振りスピードを上げる犯人！

ジーマ

「萌江道17号線を東へ向かい犯人をはさみます！」  
火ろ志

「アルコは6号線！  
サブは7号線で

待機しろ！」

サブ、アルコ

「了解！」

犯人

「早く捕まえてー！」

窓から足を出す犯人！

火る志

「一般車両と事故になる前に何とかしなくては！あつ！見失った！」

犯人

「あれっ？もう終わり？つまんねー！」

サブ

「犯人発見！7号線を

南下中！」

一般車両とぶつかりそうになる犯人！

スピードを上げる犯人！横断歩道に  
中学生のカップル！

あぶない！

犯人

「がんばれ！がんばれ！改さん！」

窓からお尻りを出して いる

ラブ

「サブさんは何座ですか？」

サブ

「ピヨン！ピヨン！

ウサギさん！かわいい だろ？」

ラブ

「それは十一支！」

おとめ座とか…

サブ

「あつ！そつち！  
12月8日生まれの  
いて座！」

サブの読んでいた

マンガ本の占いコ

ーナーを見るラブ

ラブ

「えーと…いて座の今日のラッキーアイテムは、

じゃがいもでーす！

サブ

「じゃがいもを薄くスライスして油でカラッ！と揚げたの食つてくれれば良かつたな！」

ラブ

「ポテトチップスって  
言つた方が早くね？」

サブ

犯人がサブの車に何か 投げた！

「くつ！危ねー！

フロントガラスに あたつたら割れるぞー！」

犯人との距離

200メートル

「アルコ！13号線で

待機しろー！」

「了解！」

信号無視をしてスピードを上げる犯人！

横断歩道に

小学生のカップル！

あぶない！

「しつこい犬だ！

エサが欲しいか？」

の車に何か投げた

「それっ！にんじん！

たまねぎ！野菜不足は

ダメ！ダメ！」

「わあー！危ねー！

サブ

犯人

犯人

犯人がまた、サブ

ラブ

「にんじんです！

たまねぎです！」

サブ

「カレー作れってか？」

犯人

「そろそろ、トドメを

さしますか？」

「賛成！」

「賛成！」

「賛成！」

犯人

犯人

犯人  
「多數決なのでトドメをさしまーす！多數決って言ったけど

車にはオレ一人しか

乗つてませーん！」

ラブ

「カレーの材料で  
にんじん！たまねぎ！と

きたら、あとはやっぱり

？」

サブ

「じゃがいも？」

犯人

「ジャーン！

とどめだ！スキ、キレイはダメ！ダメ！」

犯人がまた、サブの車に何か投げた

サブ

「わあー！

ラブ

「キヤー！

ゴンッ！ボコッ！

ブシュー！ブシュー！

サブの車はパンクした！

「犯人はフ号線を

南下中！サブ！パンクでリタイアです！」

ラブ

「普通、ラッキー

アイテムにやられる？ じゃがいも食べてから 犯人追えれば、捕ま  
つたかも？」

サブ

「そうかもな？

じゃがいもをつぶして  
ひき肉とか混ぜて  
パン粉を付けて油で  
揚げたモノを途中で  
食べば良かつたな！」

ラブ

「コロッケって言つた方が早くね？」

サブ

「ラブ！じゃがいもは、やつぱり  
ラッキーアイテムだつたな？」

ラブ

「犯人は捕まりませんでしたよ！」

サブ

「ラッキーアイテム

だつたよ！

犯人にとって！」

犯人の車は夜の町に  
消えた：

某日、萌江戸北町の銭湯で…

今、ラブのクラスの ブームは銭湯だ！

まみ

「あつ！むめ！

バスト少し大きくなつたでしょ？」

むめ

「わかるー。」

もも

「ももも早く大きくならないかなー。」

K

「もも、小さいー！」

かわいそうー！」

まみ

「ソレツ！女の子が一番キズつくのー。」

L

「だつて！本当に  
小さいんだもん！」

泣くもも

むめ

「小さい！小さい！  
言っちゃダメー！」

まみ

「もも！泣かないで！  
こんな子たちに

負けないで！

M

ファッショソ誌の表紙になつたんだからー。」

「私たち

先月やりましたー！」

むめ

「私たちのDVD 出ます！」

K

「そんな子供だましー！」

私たち、袋どじに

なりまーす！はー！」

私たちの勝ちー！」

むめ

「ねえー！男子！  
私たちの方がいいよね？」

壁の向いの男子更衣室の男子に問いかける

戸江萌

「うーん…迷うなー」

むめ

「アミには聞いて

ませーん！」

L

「男子って言つても  
イケメン限定なの！」

K

「ドミは、おわしつけて、しーふんで塩まいて、  
ちゃんこ作つてればいいのー！」

体を洗う女子たち

むめ

「あー！シャンプー  
終わつちやつたー！」

L

「はい！使つて！」

むめ

「でも！むめは  
ライバルでしょー？」

L

「そりゃやうだけど、

髪は女子の命だぞ！ 戰には一時おあずけ！ 遠慮しないで使って！」

むめ

「あつがとう！」

仲良く髪を乾かす 「とむめ」

今まで何度も、もめてきたセクシー系と癒し系がやつと、わかりあえた：

むめ「あつーーーあつーーーした！シャンプー あつがとうね！」  
「はい！500萌円 いただきまーす！」

500萌円=500円

むめ

「えつーーー！」が 使つてつて言つたじやなーい！」

「

「タダって言つて ませーん！」

むめ

「中学生かよー！」

体を洗う男子たち…

戸江萌

「おーい！女子！」

せつナん貸してーーー！」

男湯から声がした！

K

「どこに貸すせつナんかなーい！」

まみ

「なーい！」

「なーい！」

むめ

もも

「なーい！」

龍

「おーい！女子！」

K せつなん真似してあざて 下さーい。」

「あつ！龍様来てるー。」

竜

「お願こしまーすー」

L

「あつ！竜様も来てるー。」

りゅう

「すぐー返しますか、ひー。」

M

「あつーりゅう様も 来てるー。」

まみ

「キヤーー！ 3Dよー。」

K

「Kのせつけん！」

使ってーー！」

せつけんを男湯に投げた！

戸江萌

「どうもー。」

3 D

「あつがとつー。」

まみ

「Kだけズルーい！まみのも使ってー！」

」

「」のも使ってー！」

むめ

「むめのも使ってー！」

もも

「もものも使ってー！」

中年女性

「そんな小娘のせっけんより大人の女のせっけん使ってー！」

M

「おばさん！だれ？」

中年女性

「戸江萌の母です！」

男湯で…

龍

「せっけんを借りられました！みなさん！」

いつしょに

体洗いましょう！」

10数人が輪になり

前人の背中を「ゴ

シッ！ゴシッ！」と洗った

そして、180度向きを変え、また前人の背中を洗った

知らない男の背中を  
洗っていた猫多

猫多

「おじさんーだれ？」

男

「戸江萌の父です！」

サブがラブを車に乗せ 強盗犯を追つた日から  
1週間後、北町改本部で…

火る志

「おかしいなー！ ここ1週間、車を使った犯罪が増えている  
そのうえ逃走する車を 捕まえられない！今までこんな事なかつた  
よな？」

サブ

「はい！スルスルと こっちの動きがわかる ように逃げていま  
す！」

火る志

「動きがわかる？スパイか？」

サブ

「スパイと言えば盗聴機ですね？」

盗聴機を捜すプロが来た

可部<sup>かべ</sup>

「最近は誰でも安く買えますからねー！  
私も彼女の部屋…」

ピッ…ピッ…ピッ！

盗聴機発見機が反応する

可部

「近いですね！」

ピイ  
！！！

盗聴機発見機がスゴく 反応した！

可部  
「ありましたー！」

なんと！サブのズボンのポケットだ！

それと同時にベイ、由白

ジーマの3人が刀を抜き

サブを囮んだ

由白

「両手上げろ！

足広げろ！動くな！」

刀でサブの首と心臓を 狙っている！

由白

「つらぎったな？

力ネか？」

サブ

「ちょっと待つた！何かのまちがいだ！」

ジーマ

「これですね！」

サブのズボンのポケットから、かんざしを見せる

取り出しみんなに

可部

「まあー！ほんどの

モノに仕込みますからねー！私も彼女の部屋…」

サブ

「あつ！それは

ラブちゃんのかんざしだ！じゃがいもで車を ボコッ！ボコッ！  
に された田にラブちゃんが車に忘れて行ったんだよ！」

ジーマ

「サブさんがあわてぶりからするとウソをついていますね！」

ベイ

「コーヒーをおじって

くれたのも私を手なずけるためだつたんですね！

サブ

「ラブちゃんに電話して聞いてくれ！」

ジーマ

「ラブちゃんがスパイ  
とは！カワイイ顔して  
最近の子は怖いねー！」

火る志

「誰が怖いって？」

ジーマ

「イヤ！カワイイ娘さんです！」

火る志

「たぶん、この会話も

聞かれている！

ラブを確保しろ！

学校へ急げ！」

30分後、

萌江戸北町学校で…

冬葉教頭

「業務連絡！」

用務員のりある君！ 大至急、校長室に来て 下さい！」

冬葉教頭＝冬葉博士

「何だ？ ネコが

池のコイを狙つて いるのか？  
あんず！ ノートたのむ！

あんず

「了解！」

校長室で…

勝校長

「りある君！ 校門に女子をいやうしの目で  
見て いるストーカーが  
いるので泣かして 下さい！」

校門で…

りある

「いた！ いた！ 校長の

言つ通り、いやうしい目をしてるぜ！」

ベイ

「あれつ？ ラブちゃんは？」

りある

「（）指名かよ… ずつずつ新しいストーカーだ！

給料分、働くぞ！」

りある

うで！あし！はら！

へそ！おしり！」

ベイ  
「ギャー！」

由自

「ブヒツー！」

アルコ

「ギエツー！」

改本部に連絡するベイ

ベイ

「頭！道場破りの  
サングラスの男が学校で用心棒やっています！ 大至急！応援お願  
いします！」

校長室に電話がかかってきた

火ろ志

「校長！ラブを改に渡して下さい！盜聴容疑が  
あります！」これは萌江戸の治安に関わる重大問題です！」

勝校長

「断ります！」

火ろ志

「ラブは私の娘だ！何の問題もない！」

勝校長

「正式な手続きをして

下さい！」

火る志

「私が責任をとるから  
だいじょうぶだ！」

勝校長

「法律に基づいた書類はあるのですか？」

火る志

「かつちゃん、たのむよー！」

勝校長「いくらヒッピーのたのみでもダメ  
だよー！容疑者とか変なうわさが広がって学校の　　イメージが  
悪くなるよー！」

火る志「じゃあ！他人の畠に侵入してお金　　払わないで、甘ー  
い！　イチゴ狩りしたの  
生徒とPTAに話す！」

勝校長「かんべんしてよー！私は教育者だ  
よ！　それに、それは子供の頃の話だよ！ヒッピー　　だつて、冷  
たーい！くじ付き  
アイスの棒を引っこ抜いて当たりはずれを  
見てたじやないか！娘と部下に話す！」

火る志  
「かんべんしてよー！私は法の番人の　　改だよ！それに、それは  
子供の頃の話だよ！」

勝校長

「引き分けだな？」

火る志

「そうだな！」

「ワツ！ハツ！ハツ！と　　大笑いする2人

オレはうれしいよー！」

火ろ志「かつちゃんが元気だつたんで、

「勝校長、オレもビックリーが元気なんでもういいよー。ビックリーが改になつていてビックリしたよー！」

が 通つてゐる学校の校長で ビックリしたよ！学校を卒業してから一度も 会つてないからなー！」

「うひうひ……」

火の志一やいか?まあー! しゃ! お互い元気  
なんだから! なんだよなー!  
よくいつしょに遊んだよなー!

「火る志」 「そう！ そう！ 川ばっかり！ 魚つつたり泳いだり！」

ただし、穏便にたのむ！」

冬葉教頭・ハーベン！

落とし物が届いています！校長室に取りに来て下さい！」

ラブー失礼します！あつ！父上！」

火る志 - テア ! 逃けなかつたのか?』

火る志

「盗聴機で私たちの会話を聞いていたんじゃないのか？」

ラブ

「盗聴機ってなんですか？」

火ろ志

「サブが持っていた、かんざし型の盗聴機だ！」

「あつー！あればラブ

「海雪ねえさんからもらいました」

火ろ志

「お手伝いさんの海雪さんか？」

ラブ

「はーー！」

北町改本部に電話する

火ろ志

「盗聴容疑で海雪さんの身柄確保しろー！」

日田

「了解ー！」

北町改本部に連行される

ラブ…

30分後、北町改本部で…

日田

「頭！海雪さんが行方不明です！」

火ろ志

「緊急配備しろー！」

留置場で…

サブのとなりの部屋に 入れられるラブ

ラブ

「サブさん！」

「ごめんなさい！」

かんざしが盗聴機つて

知らなかつたの！」

サブ

「もう氣にするな！」

それより、あのかんざしどいで買つた？

ラブ

「あれは、海雪さんからもらつたの！」

2、3日学校行けない  
理由はかぜでいいけど  
1週間行けなかつたら  
理由じうしょう？」

サブ

「かぜのあと親知らず  
抜いて、  
はれてイタかつたつて言えば…」

ラブ

「ラブ！まだ1本も  
親知らず生えてないん  
です！」

サブ

「そつか、じやあ

盲腸の手術は？

「それにする！」

「もしかしたら、  
2、3週間ココから  
出られねーかもな！」

「えつー！ そんなに！  
学校になんて言えば  
いいの？」

ラブ サブ ラブ

サブ  
「盲腸がいっぱい！  
あつたつて言えば？」

ラブ  
「クラスのみんなに  
ドン引きされます！」

30分後：

火る志  
「サブ！ ラブ！  
出るー！」

サブ  
「恐怖の取り調べが  
始まるぞ！」

ラブ

「ラブ！泣きそうです！」

火る志

「ラブ！」

ラブ

「わあーー！始まつたよーー！」

火る志

「サブ！2人は  
証拠不十分で釈放だ！」

ラブ

「あつーー！良かつた！　学校へ行けるーー！」

学校大スキ！

自分大スキ！ラブ！

火る志

「海雪さんらしき人物が中トロピカル島行きの船に乗つたと情報があつた！ベイと出動だ！」

サブ

「了解！」

ラブ

「父上！サブさん！

カッコイイ！初めて

生出動見ちゃつた！逮捕　されても良い事つて  
あるんですね！」

火る志

「良い事はない！」

1時間後、海雪らしき 人物が乗った船に

追いつくサブとベイ

2時間後、2隻の船は  
中トロピカル島に着いた  
船から降りてくる人々

サブ

「いたか？」

ベイ

「いいえ！」

た女性が突然走り出した！

サブ

「ベイ！追え！」

追う2人！逃げる女性！

追いつくサブ！

女性のうでをつかむサブ！

サブ

「心配しないで！

本部へ行きましょう！」

女性

「きやー！ちかん！」

その女性は海雪では、なかつた！

サブ

「やられた！」

ハメられた！あなたは、  
なぜ逃げたんですか？」

サングラスをかけ

ぼうしをかぶつて

女性

「船の中で女性からお金を払うから船から  
降りたら、  
すぐ！」

100メートル 走ってね、とたのまれ たんです！

某日、中トロピカル島で…

勝校長にたのまれて 勝校長の

知り合いの社長の会社に仕事に来たりある  
名前は

「COMPLETE (セキュリティー) 社」

警備会社だ

某日、

会社で…

りある

「今日から働く  
りあるんだ！ よろしく！」

キッド

「よろしく！ 兄弟

れこ

「よろしく！ 兄弟

いじり

「よろしく！ 兄弟

りある

「オレ！」

ひとりつ子だよー。」

キッド

「オレもだよー。」

りある

「じゃあ、なぜ？兄弟」

キッド

「オレたちの

仕事は危険だ！それを  
いつしょにやるからわー。

りある

「OKー兄弟ー！」

キッド

「オレたち

「ノンフリート セキュリティー社の社員は中トロピカル島  
での衣食住は、すべて無料だ！なぜかと言つとオレたちの会社  
の社長が この島をリゾート開発 してホテルや店を作つたから  
さー。」

中トロピカル島をリゾート開発したのは  
コーヒーシュガーリー社だ

コーヒー豆とさとうきびの栽培で成功して  
リゾート開発や

レジャー施設の建設も 行つよつになつた

現在も中トロピカル島のとなりのトロピカル島でコーヒー豆と  
さとうきびの栽培は 続いてい

りある

「オレたちの社長は、  
2つの会社を経営  
しているのかスゲーな！」

次の日の夕暮れ、

中トロピカル島のキレイな砂浜で…

波つかせわを歩く

あんずとつある

夏まつりの時によつて、あんずのテートの誘いを断れなかつたりある

あんず

「いの貝ガラを

耳にあててみて！波の音が聞こえるよー。」

りある

「聞こえない！本物の波の音がつるねへって！」

あんず

「田を閉じて…もつと…耳をすまして…

田を閉じるつある。

1秒：3秒：5秒：

つあるのほつぺたに

何かふれる

あんず

「チュツー。」

つあるのほつぺたに

キスをするあんず

びつくつ…して田を

開けるりある

照れるりある

あんず

「やつひやつたーーこれで2人は一生

しあわせー。」

中トロピカル島でチュー（キス）した2人は結婚して一生 しあわせになるという 伝説があるー。

次の日、中トロピカル島のコンプレート セキュリティー社  
で…

キッド

「りあるー。

うでももう、やめさせー！

りある

「おもしろやう  
だな！ やうひやー！」

さいこ

「何か、かけるか？ その方が真剣になつて  
盛り上がるぜー！」

りある

「オレ！ 時計かける！  
コレー！ けつこう高いぜー！

キッド

「オレ！ 髪の毛！  
負けたらボウズになるー。

さいこ

「オレ！ 小指ー。」

りある

「ジロークだらへ。

「いじり

「オレ！」

右田かたる「

りある

「こじるまで

悪いジロークはよせよー・負けたらいいからだよー..」

キッド

「ふーしー..

始めるぞー！一回戦はオレとつあるだー！」

れこーじ

「レティー・GOー..

手にチカラを入れる  
りあるとキッド

キッド

「あーー・負けたー・ボウズかー..」

りある

「いよー・ボウズにしなくてもー..」

キッド

「ダメだー・男の約束だー..

キッド

りある

髪の毛を切る

「やひなぐてもここのー、やひかやつたよー..」

キッド

「2回戦は、

れこーじ、こじるだー..

かけるモノ確認あるやー。

さこーじまへ。

「すしー。」 キッド

「変えるなよー。」

りある

「すしでいにょー! 大トロうまこーぜー。」 キッド

りある

「こなりゅしだよー。」

キッド

「ふざけんなー。」

りある

「はー! はー! 」

小指でした!」

りある

「かんべんして

やれよー! 自分がボウズになつたからつて

やつあたりか?」

キッド

「うぬせー! 」

りある

「ステキな  
ステーキー! 」

キッド

「だからー! 変えるなつて! 」

りある

「ステーキでーこよー。」

サーロインー

「うまこゼー！」

いじわ

「とつぶの

ステーキだよ！」

キッド

「ふぞけるなー！」

いじわ

「はーーはーー！」

右田でしたー！」

いじわ

「もうー！やめーーー！」

小指と右田じや、

びっしが負けても大変な事になるー！」

キッド、セコー、こじの3人がビンに

入った赤い液体をスゴく

飲んでいる！

田がトローンとして

酔ったような状態

だ！

あの赤い液体は禁止薬物では？

キッドは「ゴクッ！と

赤い液体を飲んだ

キッド

「りあるー！

だいじょ「ぶだよー！

指と田をかけても！

今はいい薬があるから  
イタくねーよー！」

飲んでいる赤い液体の

事か？

れここ

「つあるせ

「つねせーんだよー。」

れここの皿せトローレンヒ

してこるー。

「ゴクッ！と赤い液体を

飲むぞここ

いじじの

「右田かけるん

じやなかつたよー。」

「わつやわつやだよー。やめろー。」

りある

「ハートイー。」

りある

「やめろー。」

キッド

「GOー。」

つある「やつやけひたよー。」つやヤバイぞ

！」

がつちり手を組む、  
れこことれこ

2人の手はプルッ！  
プルッ！と震えている

10秒経過…なかなか  
勝負は決まらない

りある

「やめろー・

引き分けにこしろー・」

キッド

「ダメだ！

最後までやれー・！

ワツ！ハツ！ハツ！

赤い液体を飲んで笑う

キッド

セイ

「右目はもうひつたぜー・」

いいろ

「あつ・もつ

ダメだ！」

右目をかけた、いいろが

負けた！

セイ

「やつたー・！

男の約束だからなー・

早く右目を出せー・」

いいろ

「ちょっと待つてくれ！兄弟！

ジョークだよ！

わかつてるよなー・」

いいろ

右目なんてムリだよー

みんなも最初から

りある

「わかつてるよー・

ワツ！ハツ！ハツ！

1人で笑うりある

#ヤシジ

自分で言つたんだから責任とれよ！」

右目出せ！

ゴケッ！と赤い液体を

食むまい

りある

הַלְּבָנָן

仲間二十八  
兄弟力がかり語りてせまし

キッド

— しくら兄弟でも

夕方だ！」

七

「これは遊びじゃ

卷之三

いろ

あ  
ー  
！

—イタいぞ！」

「一撇」の「撇」

いろ

七二

右目だつたよなー?  
キツド

גָּדְעָן

「イヤー！薬はいらねー！

赤い液体を一気に飲み 興奮するこころー！

「さーこーー。

手を出せーー！右田だーー！

「やめろーー！」

「やめねーー！」

「やめーー！」

「やめーー！」

「右田」と

文字を書いた！

「えつーー！」

「オレー！右田

かけるって言つたよね？右田かける

右田書ける

りある

「中学生かよー！」

同日、萌江戸の病院で…

体調を崩すラブ

手術をすると言われ

オペスキーエー 医師に盲腸の

入院するラブ

ラブ

「みんなと

中トロピカル島へ

行けなくて悲しいです！

あゆめ

「手術して良くなつたら行けるわよ！」

クラスメイドールは 品江戸アマチュアバンドコンテスト優勝の  
副賞として3泊4日の 中トロピカル島旅行を もらつた

バンドメンバーで決めた 出発の日が迫つていた

ラブ

「コホッ！コホッ！

激しくせきこむラブ！

あゆめ

「ラブ！ラブ！」

火る志

「ラブ！ラブ！」

意識不明になるラブ

あゆめ

「かわいそうに…

中トロピカル島旅行 楽しみにしていたのに…

オペスキー医師

「ラブちゃんには 心臓移植が必要で

す！ それと左目が失明して います！」

火る志

「早く手術をして下さい！私の心臓と目をラブにやります！」

あゆめ

「私のを使って

下さい!」

オペスキ―医師

「お2人の気持ちは  
十分にわかりますが  
それはできません!」

泣くあゆめ

オペスキ―医師  
適合する心臓と田を  
捜しています!」

うなだれる火る志

病院の廊下がやけに  
長く感じる…

2日過ぎ、3日過ぎた…

ラブに適合する  
なかなか見つからない  
心臓と田は、

弱っていくラブ!

1週間後、中トロピカル島のホテルで…

仕事でホテルの中を巡回  
するりある

ホテル内の託児所で…

りある  
「あれつ?あの  
ちびっこは?」

「今!ラブちゃんに

子供に近づくある

小  
雪

あー！

「おおいたやん！」

「何で？ちびっこがココにいるんだ？」

小雪

ちひに子じやないよ！在から讀んでも

つある

「の」

卷之三

ママに電話して！」

マニマニマニ

小雪

海雪

卷之三

小雪

「わからぬ！」

りある

「海雪さん、

小雪を託児つてどこへ？

海雪

「小雪は誘拐されて人質になつてゐるんです

りある

「もつ、だいじょうぶ！ オレが海雪さんの所へ 連れて行へからー。」

海雪

「そんな事をしたら  
りあるくんが危ないわ！

りある

「だいじょうぶ！  
オレにまかせて！  
今どこでいるんですか？

海雪

「モンキービレッジの  
モンキーパラダイスと  
いうホテルにいます！」

りある

「すぐ！ 小雪ちゃんを  
連れて行きますー。」

古志田

「りあるさん！  
そんな事をしたら

あなたが危ない！」

小雪の他、「

ちびっこが

いた！

まりもちゃんも人質

だつた！2人を連れて

行こうとするつある

「待つて下さい！」

古志田

りあるは古志田に一撃

した！

古志田

「ギヤー！」

倒れる古志田

古志田=託児所

「CHILD

（チャイルド）

（セーフティー）」の

保育士

この託児所の社長は

りあるが働いている会社の坂本社長  
2人を連れて海雪のいる

モンキー・パラダイスに向かうりある

5分後：

古志田

「あつー！イテーなーーあのバカヤロー！逃げきれねーぞー！」

電話する古志田

古志田

「りあるが人質2人と  
逃げた！捕まえてくれ！」

キッド

「OK！」

兄弟が大変な事をしたぞ！捕まえるぞー！」

さーこー、いこー

「OK！」

1時間後、中トロピカル島の南海岸にある村、

モンキービレッジの

ホテル、

モンキー・パラダイスで…

サブとベイは海雪のいる  
ホテルをつきとめていた！

サブ

「私は改です！

ココに海雪さんが

泊まっていますね！」

「いいえ！」

サブ

「少ないけど…」

現金をビスカに渡す！

ビスカ

「泊まっている

ような、泊まつていな

い

よつな…

ベイ

「少ないけど…」

現金をビスカに渡す！

ビスカ

「あつ！泊まつてました！128号室です！」

10分後、128号室で…

合い力ギキをビスカに

借りたサブ

そおーとドアを開けた

生意氣そうなガキがいた

「おじさん！だれ？」

男子

部屋には3人家族がいた

サブ

「あれつ！いない！」

男子

「女のは出て  
いつたよー！」

サブ

「ベイー・追うぞー！」

部屋を出て行く

サブとベイ

128号室で…

海雪

「ありがとう

『やれました！』

男の子の母親

「あなたも大変ね

！ あんな！ いやらしい田をしたストーカーに  
つきまとわれて！」

ストーカーに追われて いふと書ひて、かくまつてもらつた海雪

15分後：

りあるが用意した船で 中トロピカル島を 脱出する  
りある、海雪、小雪、  
まつもちやん！

30分後、海上で…

キッド

「いた！ りあるだ！」

さっこ

「やるのか？」

いこひ

「やるしかねー！ 社長の命令は絶対だ！」

りあるの船とキッドの船を追う船が現れた！

海雪を捜している

東町改たたかの船だ！

「船がくるだー！」

キッド

さい！」

「じゃまが入る 前にけりをつけぬ。」

『さう』でりあるのノドと心臓 に狙いをつけぬ、  
れご」とご』る。

さい！」

「『メソ』よ！

兄弟！」

いじわ

「許せ！兄弟！」

シュー！とするどい矢が  
りあるに向かつて飛んで行く！

ズバッ！と さいこの矢が りあるの  
乗つて いる船に 突き刺さつた！

りあるは助かつた！

3秒後：

りある

「うつ！」

いじの矢が、りあるの背中に刺さり貫通した！

りある

「ふつはつ！」と

血を吐くつあるー。

キッド

「バカヤロー！

あの世でまた、会おうぜ兄弟ー！」

キッド、セニー、シルの3人は泣いた！

キッドたちは

中トロピカル島へ

戻つた

大ケガのりある

東町改たちに助けを

求める海雪ー！

ならみ

「動かないでー！」

りあるにて応急処置をするー！

「うつー！イテー！

小雪

「つーおにいちゃん  
しつかりしてー！」

りある

百寺

「この男子は？」

海雪

「北町学校の用務員の」

百寺

「あつー！

ラブちゃんに負けた男子ー！」

りある

「オレ！東町でも

ラブちゃんに負けた

男子つて言われてるんだ！

百寺

「しゃべらないで！

出血します！」

東町改頭の京町

「あなたが海雪さん  
ですね？」

海雪

「はい！」

京町

「どうして盗聴機を？」

海雪

「子供が人質になりました。  
そして言つ通りにしないと子供を  
太らせてサークスの大スターにすると脅迫  
されました」

京町

「犯人の顔を見ましたか？」

海雪

「電話で指示をされたので見ていません！」

「眠くなってきた！」

りある

萌江戸に着いた

海雪

「りある君！  
がんばつて！」

小雪

「りーおにいちゃん  
死なないで！」

りある

「なるべく  
死なねーようにする  
また、みんなで  
夏まつりに…」

手術室に入るりある！

次の日、萌江戸本町  
火付盗賊すべて改本部  
会議室で…

改大頭の美鬼

「サルは？」

火ろ志

「逃げられました」

西町改頭の八本木

「サルは捕まえました！」

美鬼

「海雪は？」

火ろ志

「逃げられました」

東町改頭の京町

「海雪は捕まえました！」

美鬼

「古い帆船は？」

火ろ志

「逃げられました」

南町改頭のきなわ  
捕まえました！」

「古い帆船は

美鬼

「みんなーーぐるう  
だつた！30分後、また  
集合してくれ！うまい  
ラーメンの店を見つけた！みんなで食べに行こうぞ！」

改頭たち

「了解！」

会議室を出る美鬼

美鬼＝改大頭

しら）＝改頭のトップ

同日…

萌江戸でサルが3日連続1日に1人づつ赤ちゃんを誘拐した

事件は

今も未解決だ！

この日、報告された

古い帆船とサルは、

その事件とは

無関係だった

火ろ志

「みんな悪いなーー北町のサポートー！」

きなわ

「ヒッピーは部下に

優しいから犯人にも  
優しくしちゃうんじゃ  
ねーのー！」

八本木

「だから、サルと  
古い帆船と海雪に  
逃げられた？」

火の志

「部下には厳しくしているんだけどなあーーー。」

京町

「ヒッピーは優しいよー。きなわとちがつて！  
きなわは恐いよーーー！」

きなわ

「オレは優しいよー。最近は部下が//スしても昔のよひに近づく  
まで、なぐりねーからー。」

八本木

「…つて事は昔は//スした部下は血を  
流してたんだー！」

京町

「なあつー恐いだろー！」

八本木

「ヒッピーはガキの頃 から優しくて  
から なあーーー！」

正義感が強かつた

京町

「みんな覚えてるか？ 北町学校の勝校長が  
オレたちのクラスに転校して来た日の事？」

火ろ志が小3の時…

萌江戸本町学校の教室で…

金・ニック

「私をラブ！キレの 主人公にして欲しい！」

金・ニック＝

韓国系アメリカ人。

タンクトップに短パンで筋肉がモリモリしている！

八本木

「先生が主人公  
じゃーつまんなくね？」

金・ニック

「今日はあきらめます！だけど  
主人公に絶対なつてやる！」

ラブ！キレの主

きなわ

「親に甘やかされて 育つたな？」

金・ニック

「今日から

みんなといっしょに

勉強する勝九美男

(かつくみお)君

だ！みんな！仲良く

して下さい！」

勝九美男＝現在はラブが通っている学校の

校長

休み時間…

京町

「かつちゃんは、

どこから引越して来たの?」

勝

「江戸!」

さなわ

「つそつき!」

勝

「本当だよ!みんな  
チヨンマゲで刀をさして  
いる!」

きなわ

「つそつき!」

八本木

「テーマパークに住んでるのかよ!」

生徒たち

「つそつき!」

「つそつき!」

教室がつそつきホールで 騒がしくなる!

泣く勝!

火る志

「かつちゃん!」

泣くな!「ノノヤロー!」

とうそつきホールをしている、

きなわに片足タックルを仕掛ける 火る志

それをバックス

テップでかわし、火る志の背中に乗りつぶすきなわ

わざかなすきまを作り、体を左にずらすと同時にき

なわの右うでに、 うでひしき逆十字を

キメる火る志

ピィーン！と右うでが のびきつてしまつた

アブラ汗のきなわ

火る志

「ギブ？」

きなわ

「こつちのセリフだ！」

ギブアップしないとケガするぞ！

きなわ

「ギブ…」

突然！クルツと後転して脱出したきなわ。

笑う2人

金・ニック

「コラー！」

学校は格闘技禁止だ！

火る志！ひじをキメる  
位置が2ミリ、ズレて  
いるぞ！

だからきなわに逃げられたんだ！

きなわ！脱出と同時に  
チョークスリーパーだ！

もつたいない！

口の中に豚肉と野菜を  
入れると酢豚ができる  
くらい、いつも先生が  
口をすっぱくして言つて

いる事が2人はなぜ?  
できない?」

転校して來た

勝九美男

は九人兄弟の九番目  
じゃね?と学校でうわさ  
になつた

現在に戻り…

美鬼が

会議室に入つて來た

美鬼

「よし!みんな!

うまいラーメン食べに  
行くぞー!あの店の子  
カワイイぞー!」

きなわ

かよ!

次の日、萌江戸北町で…

町長選挙に出馬する事に  
なつたラブの学校の

勝校長

教育熱心で

知られ、ボランティア  
活動もしていて人望が  
ある

「目的は、そっち

同日、萌江戸から船で  
1時間の所にある、  
大トロピカル島で金が  
出た！金の鉱脈がある！

大トロピカル島の所有者は、コーヒーシュ  
ガードの坂本社長だ。りあるが働いている会社の社長だ

金の採掘地は誰でも  
買えた

毎日、金が発見され  
ニュースになつた。

それを見た人々は自宅を売つたり借金をしたり  
して争うように 金の採掘地を買つた 每日、金が発見さ  
れ人々は金持ちになり車を

買おうか？家を買おうか？うれしい悩みの毎日だ

大トロピカル島の 金の採掘地が完売  
した 1週間後、

萌江戸北町学校の教室で：

金・ニックジュニア 「龍、」、ももの3人は引越しました！

大学生

「なぜ？引越したんですか？」

金・ニックジュニア 「秘密なので話せ

ません！」

大学生

「父親の転勤ですか？」

金・ニツクジユニア  
「じゃあ話します！」

「秘密ばらすの

早くね？」

金・ニツクジユニア  
「3人は就職のために

引越しました！」

大学生  
「ど二へ引越ししたんですか？」

金・ニツクジユニア  
「3人は就職のために

「3人と約束した

ので 話せません！」

大学生

「アメリカですか？」

猫多

「北朝鮮ですか？」

戸江萌

「トリー…

トリー…ダ…

トリー…ダードトバゴ

ですか？」

金・ニツクジユニア

「戸江萌！」

トリー…ダードトバゴって  
スラッ…と言えるように

練習しなさいって前に

言つたぞ！じゃあ！　話します！3人は

金の採掘をする会

社に就職するために

大トロピカル島へ

引越しました！

魔心

「約束破るの  
早くね？」

K

「3D、  
解散しちゃうんだー！」

まみ  
「クラスメイドールも解散だ！」

M

「悲しい！」

あんず

「一度に3人も  
転校しちゃうし、

あいちゃんど、りある君は長期欠席だし  
ラブちゃんは　　入院してるし…」

1週間後、中トロピカル島で…

萌江戸アマチュアバンド　コンテスト優勝の副賞で  
3泊4日の旅行に来た  
クラスメイドール

キレイな海！白い砂浜！ハイビスカスが

咲いている！

魔心

「あつー…やつぱー

「つひの海はキレイだ！

猫多「魚もいっぱいいるし！

大学生

「そうですね！

この辺の海には魚介類の  
エサになる、 動物性プランクトンが、 豊富で島の周りに  
は 魚の繁殖に適した  
岩礁が多く、 捕食者で ある大型の魚類が「

K

「セリフが長いよ！」

あんず

「ラブちゃんが

来られないのが残念です！」

就職した龍、L、ももの

3人も来た！

誰か来た

アロエロ

「クラス

メイドールサマーテスカ？

K

「はいー。」

アロエロ

クラスメイドールサマノ

オセワガカリノアロエロ

デス！」

「オマチシテイマシタ！ワタシハ

L

「アロエロさん読者が  
読みづらいからカタカナ  
やめてね！」

アロエロ

「ハイ！

ワカリマシタ！」

L

「今！注意した  
ばつかだよ！」

まみ

「アロエロさん！  
日本語じょうずね！」

「そりゃそうですよー 生まれは...はいー

アロエロ  
どこでしじうか？  
クイズね！」

むめ

「ヒントは？」

アロエロ

「海！」

M

「最初の文字が...う

アロエロ 「魚かよー！」

せめて陸にしてよー！」

もも

「海の家！」

アロエロ 「最初の文字が、う… そして陸だから  
海の家。うん…  
いいぞ！… つてちがうー！正解は宇都宮でーすー！」

むめ

「何県？」

もも  
「知らなーい！」

まみ

「それどこ？、

埼玉県？みんな！  
おなかすかない？ 3時のおやつに、まみの地元へ  
ギョーザ食べに行かない？」

アロエロ

「やいひぎー！」

みなさんー！何でも しますよー！私、はだかになつた方がいいで  
すか？」「

まみ

「いこーみー！」

そのまままでー！」

「マニキュアぬつてー！」

M

アロエロ

「はい！」

「くつーなめてー！」

「L

アロエロ

「はい！」

むめ

「やめなさいよー！」

アロエロ 「いいんですよー！」

そのためのお世話係

アロエロ 「ですかーー！何でもしますー！」

K

「家のローンの保証人になつてー！」

アロエロ 「実印、持つて来ます！」

K

「口口にハン口押してー！」

アロエロ

「はいー！」

まみ

「わあーー！

やめなさいーー！」

アロエロさん！

保証人になつたら

生き地獄よー！」

アロエロ

「マッサージ

にしますか？

お食事にしますか？

まみ

「アロエさん！  
3連休していいよ！」

戸江萌  
「まず！何やる？」

猫多

「プール？カジノ？  
ショッピング？寝る？」

魔心

「オレはバイクの  
ハンドルの角度変えて、  
太いタイヤを捜しに  
夜になっちゃーな！」

戸江萌

「自宅でやれ！」

龍

「プールに行きますか？」

竜

「いいですね！」

ホテルの屋上のプールへ  
行く3D

K

「ショッピング行く？

L  
「イク！イク！」

ショッピングに行く  
セクシー系3人組

むめ

「おなかすいたー！」

まみ

「ギョーザ食べに行こー！」

食事に行く癒し系3人組

それぞれ、やりたい事を  
やり、中トロピカル島を 満喫して1日終了

次の日、萌江戸の病院で…  
ラブ！意識不明から  
目覚める！

左目に眼帯をしている

中トロピカル島での  
2日目、おそい朝食を  
済ませリゾート地で  
のんびりする  
クラスメイドール

龍

「今日は、みんなで  
海で遊びませんか？」

K

「賛成でーす！」

中トロピカル島の

キレイな海でみんなで遊ぶ事になった

K

「まみ！龍様が

ホテルへ来てつて！」

まみ

「えつ！早く行かなきゃ

むめ

「まみ！つせよ！

氣をつけて！」

K

「むめ！じゃま

しないでよ！

まみが帰るとこひ

だつたのに！」

L

「むめ！竜様が日焼け  
したいからサンオイルと  
オリーブオイルと  
エンジンオイル買つて  
きてつて！」

むめ

「エンジンオイルは  
何リットル？」

L

「1000リットル！

むめ

「ドラム缶で5本ね？

「トランク借りて…」

井  
み

「むめー！だまされ  
ちやダメー！」

M

「りゅう様がももの  
ビキー見たくないから  
海に消えろって言つてゐ  
て」

もも

「そんな事言つて  
ないもん！りゅう様！  
ももに優しいもん！」

K

「りゅう様はみんなに優しいのー…やつぱ  
この子たちとは仲良く  
できないわ！勝負して  
勝つたチームだけが  
3Dとこにしょに  
いられるつてのはどう？」

ま  
み

「望むところよー！」

K

「夏まつりみたいのはイヤー！一本勝負よー！」

ま  
み

「いいわよー！」

龍

「ボクが勝負の種目を決めてもいいですか？」

K、まみ

「はい！」

龍

「はい！引き分けです！

まみ

「えつ！まだ何も  
していないですよ！」

龍

「もう！終わりましたよ！

さあ！みんな！

「よう！夏が終わっちゃうぞ！

「そういうところスキ！

K

同日、

退院するラブ！

左目に眼帯をしている

ラブ。自宅で…

火る志

「ラブ！

黒和尚

様の所へ剣のけいこに  
行きなさい！」

ラブ

「黒コショー？」

「ちがうつー。

火る志

2人の笑顔勝負！  
いつしょに泳ぎま

黒和尚様だ！剣の道を

極めた7人の中の1人だ！」

ラブ

「あと6人は？」

火ろ志

「あとで教える！

黒和尚のいる古寺は

高い山の頂上にある！

古寺へ行くには

9999段の階段を

のぼるしかない！

9999をかぞえるだけ

でも疲れるし、時間も  
かかる！それが階段なら  
もつと疲れるし、もつと  
時間もかかる！

ラブ

「ふつー！やつと  
着いた！こんにちは！  
黒和尚様！剣のけいこを  
お願ひします！」

白和尚

「私は  
白和尚だ！私は剣のけいこは  
やらない！」

ラブ

「塩コショー？」

白和尚

「ちがうー。

白和尚だ！黒和尚は、  
あっちの山だ！」

ラブは、

まちがつて  
白和尚の所に来て

しまつた！ラブのバカ！

階段を9999段おりて黒和尚様の所へ行

くのに

階段を9999段のぼる

のか？

19998をかぞえる だけでも疲れるし、  
時間がかかる！ それが階段なら、  
もっと時間がかかる！ もっと疲れるし、  
ラブ

「失礼しました！」

階段をおり始めるラブ

白和尚

「ちょっと待つた！その女子！剣のけいこの  
代わりにためになる話をしてあげましょー！」

ラブ

「お願いします！」

白和尚

「ただし！クイズに正解してからです！

女子の名前は？」

ラブ

「ラブです！」

白和尚

「ラブちゃんって呼んでいいですか？」

ラブ

はい！」

白和尚

「アフ！ ケイヌを出すぞ！ 答える！」

ラブちゃん！

# 白和尚

「カレイと

## ヒラメの見分け方は?』

景意地!スグ答へ始める

ラブ

カレイで左に目があるのがヒラメです！」

正面をせりだれ、両手を  
上に上げさせられたるリブーツ

白和尚

テアは自分で見た  
モノを答えているだけだ！

目に見えるモノがすべて じゃないぞ！

ラブ世人

「アーヴィングは人生に迷いかあるから、そういう答  
えしか答えられないのだ！」

るラブ！

ラブは得意になつて  
自分の未熟さが

答えた事を後悔し、  
恥ずかしかつた！

白和尚

「答えは、

お母さんが力レイなのが  
カレイで、

お母さんがヒラメなのがヒラメでーす！」

白和尚

「ラブちゃん！

ちょっと待つた！

限定10回のおいしい

プリンが冷えてるん

だけど、

ラブちゃんが

帰っちゃうんじや

他の女子にあげよつと！

白和尚の所に戻るラブ

ラブにためになる

話をする白和尚

同じ話を3回もする

白和尚

少しイラッ！と

するラブ

話が終わつた

ラブ

「ありがとう

『やこました！』

白和尚

「毎日来なさい！

9999段の階段を往復するだけで、

1日終わるわーとラブは心中で言つた！

ラブ

「はい！毎日来ます！」

と言つて白和尚を

喜ばした

9999段の階段を

ラブ

「ただいま！」

火る志

「お帰り！黒和尚様は強かつただろ？？」

ラブ

「はい！限定の…

イヤー！とても強かつたです！」

おりて家に帰るラブ

その後、黒和尚様の所にも、白和尚様の所にもラブは一度も行っていない

ちょっと気になるけど…

某曰…

白和尚

「ラブちゃん毎日

来るつて言つたのに…

## プロローグ2

某日、萌江戸北町の  
コンビニで…

男  
「マネー！」

サバも切れる  
サバイバルナイフを店員に、ちらつかせている！

木刀の一撃で強盗を倒すラブ！

次の日

「木刀少女

おでがら！」ヒーロースになつた！

クラスメイドールが  
中トロピカル島へ旅行に  
行ってから1週間が  
過ぎた

3泊4日で帰る予定

だつたのに…

動く改！見つからない

クラスメイドール！

時間だけが過ぎて行く！

ラブ、勝校長、冬葉教頭 も動く！

冬葉教頭＝冬葉博士

徒を 必死に捜した

勝校長は町長選挙の

選挙活動をやめ生

中トロピカル島に着く ラブ、勝校長、冬葉教頭

女性

「おめでとうございます！あなたはフフフ万人目の観光のお客様です！」

と記念品を渡される 勝校長

記念品はガラスケースに入つた五月人形だ

キラキラしたキレイな よろいかぶとを  
付けた武者人形だ

3人は中トロピカル島で

クラスメイドールを  
捜し始めた！

改たちやラブたちが  
クラスメイドールを 必死に捜している時、  
クラスメイドールは  
こんな事になつていた！

K

「家に帰る船が、 ないんですけど？」

アロエロ

「上からの命令で

テメーら3泊4日

から

364泊365日に

なつた！」

』

「えつ！一年間じゃん！何で？」

アロエロ 「テメーらが

CDデビューすると

チエリー・ソーダのCDが売れなくなるんだよ！

チエリー・ソーダが

ビックになつて、

いっぱい力ネを稼ぐまで

テメーら！ココにいる！

ワツ！ハツ！ハツ！

大笑いするアロエロ！

M

「あんなに優しかつた

アロエロさんが急に

変わった！」

まみ

「大笑いしてるし！

むめ

「家に電話してみる！…あれつ？ケータイ

通じない！」

「もものも！」

もも

猫多

「オレのも！」

戸江萌

「ケータイ

持つてない！」

K

「買えよー。」

アロエロ

「ナメーラの

泊まる小屋と

エサは用意してやつた！あつーあ！

めんどくせー！

魔心

「アロエローぶつとばす

L

「やめなよー

729泊730日

（2年間）に

なつちやうよー。」

アロエロ

「よくわかつてんじやん！子ネコちゃん！..」

「アロエロー

「ぶつとばす！..」

まみ

「やめなよー

1094泊1095日

（3年間）になつちやうよー。」

数時間後、

高級リゾートホテルから

古い小さなホテルへ 連れて行かれた

クラスメイドールは

バスに乗せられ

そのホテルは

中トロピカル島の

スネークビレッジ といつ村にあった

北にある

古い小さなホテル、

スネークパラダイスで…

まみ

「キャー！ 何で部屋  
にヘビがいるのよ！」「

アロエロ

「ルームサービスだ！」

K

「テメー！ アロエロ！」 アロエロ  
つてのはウソだよ！ この村は ヘビを神の化身だと 信じている  
ちょっと 危ない村だ！

部屋にいるのは

たぶんのらヘビだ！

むめ

「のらネコつて 思えば、ちょっと カワイイね！」

L

「かわいくねーよ！」

あんず

「りある君が、  
きっと助けに来てくれる！ 中トロピカル島の  
チュー伝説信じる！」

同上…

萌江戸でサルが3日連続

1日に1人づつ赤ちゃんを誘拐した事件は今も 未解決だ！ サルが  
乗つたとみられる古い帆船と 3人の赤ちゃんは発見 されていな  
い。 それに 事件を起こしたサルと サルを操つていると みら  
れる人間も捕まつていない

同日、クラスメイドール  
がバスで連れて行かれた1時間後…

クラスメイドールが 宿泊していた高級

リゾートホテルで…

サブ  
「燃える赤に全部  
かける！」

する

シャー！

たまが投げ込まれる

カラ！カラ！…カラ！…

コトん！たまが黒に入る

サブ

「黒かよ！ベイ！  
力ネ貸してくれ！」

30分後…

サブ  
「ベイ！」

「もう！ダメです！明日の食事代が無くなります！」

サブ

「ベイ！オレの  
ケータイの番号  
ドの

暗証番号教える！

それとキヤッショカード貸してみる！  
ちゃんと使えるか  
どうか、オレが  
力ねおろしてみるから！

ベイ

「サブさん！もう！  
ルーレットやめて下せーーー！」

サブ

「わかつたよ！  
ルーレットやめるよーーー！」

ベイ

「良かつた！」

サブ

「次はスロットだ！」

次の日、ホテル

スネークパラダイスに  
来た、ラブ、勝校長、  
冬葉教頭

ラブ

「あんずちゃん！  
搜したよー！」

教えたよな！だからベイのキヤッショカー

あんず

「ラブちゃん！  
怖かったよー！」

ホテルの前にヘビを持った人々が集まって來た！

村長

「この者たちを村から出すな！」

アロエロが言つていた  
ように、チエリーソーダがビックになるまで  
この村に監禁する  
つもりか？

ドンードンードン！

たいこの音に合わせて  
ヘビを首に巻いて激しく  
踊る村人たち！

村長

「女子ー名前は？」

「ラブです！」

村長

ラブ

「ヒィー！ヒィー！  
ヒィーのヒィーーー！」

激しく笑う村長

戸江萌

「やめろー！  
はらへったー！」

村人に連れて行かれる

戸江萌

「村長さん！  
やめて下さい！」

村長

「うるさいー！」

猫多

「やめろー！  
眠いよーー！」

村人に連れて行かれる

猫多

ラブ

「村長さん！やめて  
下さい！」

村長

「うるさいー！」

大学生

「やめなさい！

私の友人のラブ君の  
頭の 火ろ志氏ですよー！」

村人

「セリフが長いよ！

村人に連れていかれる

大学生

ラブ

火付盗賊すべて改

「村長やん！  
やめて下せこー！」

村長

「ハヌカセー！」

ドンドンドンドンドー  
たここの音に合わせて  
ヘビを首に巻いて  
激しく踊る村人たち！

あんず

「ラブちゃん！  
危ないよー！つち来なよー！ラブちゃん！  
左目だいじょうぶ？」

ラブは左耳に頭帶をして

いた

村長

「ヒヤー！ヒヤー！ヒヤー！のヒヤー！」

ラブとあんずの所に村長が来た

木刀をギコシヒヒギコシ

ラブ！

ラブ

「あんずちゃん！

逃げてー！」

走り出すあんず！

村長

「あの女子を捕まえろー！」

5、6人の村人があんずを追いかける

あんず

「キャー！」

村人に捕まり

連れて行かれるあんず  
男子はイタクされても  
いいけど、  
あんずちゃんはイヤ！

人質を取られていては 戦う事もできない

！ラブ

村長

「あなたはコンビニ強盗を倒した  
のラブちゃんですよね？」

「木刀少女」

ラブ

「はい！」

村長

「ニユースで見ました！あのコンビニの店長は 私の息子です！  
本当に助かりました！」

村長はお礼にラブたちを  
プチパーティーに招待  
しようとしていたのだ！

男子たちとあんずは  
プチパーティーの会場に 案内されただけだった！

プチパーティーが

始まつた

テーブルに料理が

運ばれてくる

シエフ

「店長のおススメの  
ヘビのチリソース煮です

」

「まみーへビチリ

食べなよー！」

まみ

「エビチリみたいに  
言つなー！」

料理がドンー！ドンー！

運ばれて来る！

へビフライ！

ヘビシユーマイ！  
ヘビのタン塩！

豚足じやなく蛇足！

酢豚じやなく酢蛇！

麻婆豆腐じやなく

麻婆蛇！

ドンー！ドンー！料理が

運ばれて来る！

魔心

「へビを大切にして  
いる村つてウソだな！  
思いつき  
食つつけつてるよー！」

プチパーティーが

盛り上がりつてきた！

突然ー！ー！ー！ー！と

大きなサイレンの音が  
プチパー・ティー会場に  
響く！

村人

「大津波が

来るぞー！みんな！船で島から脱出しきろ！」

同時刻、中トロピカル島 の海上で…

火ろ志

「あれは！」

古い帆船を発見した！

火ろ志

「あの船に3人の  
赤ちゃんとサルとサルを操る人間が乗つていて  
かもしだれない！」

古い帆船を追う火ろ志

同時刻、中トロピカル島の高級リゾートホテルの近くの海岸で…

サブ

「みなさいん！

あわてないで

だいじょうぶです！」

大津波を避けるた

島にいる人々を船で脱出させる準備をするサブ

火ろ志が追つている

古い帆船がラブたちが  
いるスネークビレッジの  
海岸に着いた！

「みんな 早く乗  
つて！ 大津波が来るぞー！」

古い帆船の船員

「みんな 早く乗

ラブ

「あつ！ 古い帆船だ！  
ニュースでサルが  
乗ったとか？ 乗らない  
とか？ 何の事だろ？  
まつ！ いつか！」

古い帆船に追いつけない

火る志

ラブに電話する火る志  
通じない！

救助船だと思い古い帆船に乗るラブ、  
勝校長、

クラスメイドール

冬葉教頭、

その他大勢の人たち

古い帆船で…

アロエロ

「みなさん！

お飲み物にしますか？

それともマッサークに しますか？」

まみ

「アロエローまた

態度変わった!」

魔心

「今までの分  
ぶつとばす!」

K

「やめなよ!  
アロエ口さんは誰かに  
脅迫されてたんだよ!  
たぶん!」

ラブたちが乗った

古い帆船を追う火る志

そこへ北町改本部の日田から電話!.

日田

「頭! 大変です!

萌江戸で体長  
て います! のライヌ、  
のらネコ、  
のらパンダが巻かれて  
しめ殺されたり、  
かまれて丸飲みされ  
います!」

火る志

「何! それで何匹か退治したのか?」

日田

「まだ1匹も退治  
できません。ヘビの  
皮はじょうぶで動きも

速くチカラも強く  
手こずっています！」

火る志

「わかつた！」

動物に詳しい冬葉教頭に相談の電話をする

火る志

「冬葉さん！

今、萌江戸で 体長10メートルのベビが100匹以上暴  
れて いるんですが退治の方法何がありませんか？」

冬葉教頭

「ベビチリ

ソースを使いましょう！  
ネコの好物がマタタビの  
ようにベビの好物が  
ベビチリソースです！  
ココにあります！」

バックの中を見る

冬葉教頭

「あつ！ない！そうだ！貴重品として  
ホテルのフロントに  
預けてしまったんだ！」

火る志

「もう津波が 来ます！ホテルには 戻れません！他の方法を  
教えて下さい！」

冬葉教頭

「他に方法は

ありません！なぜなら  
今、萌江戸で暴れている  
ヘビは外国人科学者が  
生物兵器として開発した  
クローンヘビだからです

皮はじょうぶで動きが

速く、チカラも強く老化 もしません！  
人間のチカラでは 倒せません！

クローンヘビを倒す、  
たつたひとつ的方法は ヘビチリソースを  
クローンヘビに  
食べさせる事です！

もし！それができなければ、クローンヘビ  
は 食べ物がある限り 生き続け増え続けます！

そして萌江戸の食べ物を  
食べ尽くして無くなれば 人間を食べ始める  
でしょう！

火る志

「わかりました！

ありがとうございました

同時に、

中トロピカル島の  
高級リゾートホテルの  
近くの海岸で…

大津波が来る！

島から人々を脱出させ

ようと準備をする

サブとベイ

サブに電話だ！

火ろ志

「サブ！高級

リゾートホテルに戻る  
時間はあるか？」

「ギリギリです！」

サブ

火ろ志

「ホテルの

フロントの貴重品用  
ロッカーに入っている  
ヘビチリソースを取つて  
来て欲しい！

クローンヘビを倒す方法は、それしかない！

それがないと萌江戸の  
人間がすべて

クローンヘビに食われる！」

サブ

「わかりました！

ベイ！オレはホテルへ  
行く！」

「もうすぐ出発  
ですよ！」

ベイ

サブ

「時間がきたら船を出せー！」

ベイ

「サブさんはどうするんですか？」

サブ

「出発に

まにあうようにするから  
だいじょうぶだ！」

不安な表情を浮かべる

人々

ホテルへ急ぐサブ！

同時刻、ラブたちが

乗った古い帆船の船室で…

勝校長と冬葉教頭が

いる

テーブルには

777万人目の観光客の  
記念としてもらった

記念品のガラスケーキに入

った五月人形が置いてある

冬葉教頭「私はもう

お金には困らない！

校長！ココで死んで

いただきます！あなたを殺さないと私の命が

危ない！なぜなら私が  
あなたを殺せる  
リモコンを持つて  
いるから！

なら

冬葉博士はシベリアの  
永久凍土の氷の中で  
カツチイ！カツチイ！に  
凍っていた私と同じと  
ポチ（サル）を蘇らせて  
くれたから！感謝の心で  
いっぱいです」！

勝校長「私は冬葉博士を殺しません！なぜ

勝校長に埋め込んだ  
殺人装置を作動させる  
リモコンを持つている  
冬葉教頭！

冬葉教頭

「さようなら！」

死を覚悟したのか？

静かに目を閉じる勝校長

冬葉教頭のリモコンを

持っている手がかすかに  
動いた！

次の瞬間！

ガツシャーン！と

ガラスが割れる  
激しい音がした！

五月人形（武者人形） 「若様！」

武者人形がガラスケースから飛び出してリモコンを持つている冬葉  
教頭の 手に刀を振り下ろした！

冬葉教頭

「ギヤー！」

刀で手首をスパッ！と  
切断して、すかさず首を スパッ！と切断して  
血をドバッ！と出して

殺したかったけど

武者人形はやらなかつたなぜなら  
勝校長がさつき冬葉教頭を殺さないと 言っていたのを聞いていた  
から！

武者人形は刀のみねで  
冬葉教頭の手首を一撃 しだけだつた！

冬葉教頭が落とした

リモコンを拾う武者人形

武者人形 「冬葉！若様の お言葉がなかつたら血の  
海の中で死んでいたぞ！さあ！  
どうする？」

勝校長

「冬葉博士、  
萌江戸に帰つてから  
ゆっくり話しましょう！」

冬葉教頭

「はい」

武者人形がよろいかぶと  
をとつた

勝校長

「ポチ（サル）！」

勝校長が子供の頃に  
飼っていたペットの  
ポチ（サル）が  
武者人形のコスプレを  
していたのだ！

勝校長

「ポチ！なぜ？

人間の言葉をしゃべれるんだ？」

ポチ（サル）

「私はじいです！ じいの脳はポチ（サル）に移植されました  
！ 体はポチ（サル）でも 心は、じいです！」

勝校長

「まつ！いか！」

同時刻、中トロピカル島 の高級リゾートホテルの フロントで…

貴重品のリストのノート がない！津波の騒ぎの じやくせにまぎ

れて

誰かが盗んだのか？

ノートがないと

ヘビチリソースが何番の ロツカーに入っているかがわからない！

ロツカーは300口も ある！ 1口、1口調べていたらベ

イが待つて いる船の出発の時間に

まにあわない！

大津波に飲み込まれて

死ぬ！

サブ「落ち着け、 考えろ！ ロツカーの番号か？」

「こういうのは真ん中だな？」

番号の真ん中っぽい

ロツカーを調べるサブ

ロツカーには

時計、指輪、日記帳が

入っていた

サブ

「日記帳？

こんなモノ貴重品として

預けるか？」

他人の日記帳が気になる

サブ

「おつと！ 日記を

読んでる場合じゃねー！

再びロツカーを調べる

35、45、

55番のロッカーを  
開ける！中はカラッポ！

65番のロッカーを

開ける！中はカラッポ！

サブ

「…つて事は貴重品が入っているのは  
55番のロッカーまで  
だな？」

もすみそうだ！」

1番のロッカーから

調べる

箱がある

300匁全部調べなくて

書いてある！

サブ

「1番かよ！」

箱にヘビチリソースと

ベイの待っている船に  
戻るサブ

ベイ

「良かつた！  
まにあつた！」

サブ

「良くねーよ！  
日記帳、忘れた！」

同時刻、ラブたちが  
乗つた古い帆船で…

魔心

「IJの船、

幽霊船つぽくね？」

船が大きく揺れる！

もも

「キヤーー！」

倒れる人々！

幽霊船が消える

前ぶれか？

子ザルが1匹現れた

勝校長が抱き上げた  
勝校長

「母さんとはぐれたのか？かわいそう！」

M

「校長先生はサルにも  
優しいのね！」

むめ

「そりやそりだよ！

町長選挙があるのに  
選挙活動しないで私たち  
を捜しに来てくれたん  
だもん！」

子ザルは母ザルに甘える  
よつに勝校長のネクタイ  
や髪の毛をさわったり 二オイをかいだりして いる

勝校長

「くすぐつたい  
からやめなさい！  
このーいたずらつー」！  
子ザルを床に降ろす

勝校長

龍

「校長先生！」

冬葉教頭

「校長先生！」

M

「校長先生！」

なぜか？

みんな、

びっくりした顔で  
勝校長を見ている

勝校長

「みんなーどうしました？私を見つめてー！そんなに私はイケメンで  
すか？

頭をさわる勝校長

勝校長

「あつー！」

子ザルが勝校長のカツラを取っていたのだ！  
勝校長の頭は髪の毛が  
なくヘビのタトゥーが  
あつた

L

「校長先生！カツラ  
だつたんだ！自然な  
感じだつたんで全然  
わからなかつた！」

M

「その自然な感じの  
カツラ！パパに教えたい！メーカーどこですか？」

魔心

「校長！クール！  
そのタトウー！  
ハンパじゃねーゼ！」

勝校長

「あつーあ！」

これは本物とちがうんだ！美術部の生徒に  
作品の練習に協力したんだ！  
絵の具だ！すぐ消せる！

まみ

「生徒のためにそこまでするなんて、  
さすが校長先生だわ！」

勝校長

「うつー！  
苦しーー！」

急にうなり声をあげ

倒れる勝校長

たのまれてアート

ポチ（じい）

「若様！」

冬葉教頭

「しつかりして下さい！」

勝校長に人工呼吸と

心臓マッサージをする

冬葉教頭

心配する

クラスメイドール

30分後：

勝校長は死んだ！

泣くクラスメイドール

海が荒れてきた！

同時刻、

ラブの乗った

古い帆船を追う火る志

火る志

「ゴホッ！ゴホッ！

激しくせきこむ

火る志

血を吐いた

病気は完治していないのか？

同時刻、中トロピカル島の高級リゾートホテルの

近くの海岸で…

サブ

「ヘビチリソースは

持つたし、ベイ！出発だ！」

ベイ

「了解！」

安心して笑う人々

女性

「子供とはぐれました！」

サブ

「どんな？お子さんですか？」

女性

「小学4年生の  
男の子で車いすに  
乗っています！」

サブ

「ベイ！船に車いすの  
少年乗つたか？」

ベイ

「いいえ！」

サブ

「どこで、はぐれたんですか？」

女性

「あのホテルです！」

サブが遊んでいた  
カジノがある高級  
指さす女性

リゾートホテルを

サブ

「私に任せて下さい！  
あなたは船に乗つて  
下さい！」

今、出発しないと大津波  
に飲み込まれて全員死ぬ！  
不安になる人々

どこかに電話するサブ

サブ  
「ベイ！今、  
電話して聞いたんだけど 車いすの少年は別の船に  
乗つたそうだ！」

「良かつた！」

サブ  
ベイ

「ベイ！これで  
カジノで借りたカネ  
返した事にしてくれ！」

サブは自慢の金の  
ネックレスをベイに  
渡した

ベイ

「サブさんの大切なモノだし貸したお金の  
倍以上です！」

受け取れません！」

「ベイ！」

サブ

ベイ

「じゃあ！現金で返済するまで預かるって事でいいですか？」

サブ

「OK、ベイビー！ベイ！船長に出発するよ！」  
[さぶに]言つてくれ！

ベイ

「了解！」

船が動き出す

安心して笑う人々

サブは動く船から  
中トロピカル島へ  
飛び降りた！

それに気がつくベイ！

しかし、手おくれだつた

サブ！この船に乗らないと大津波で死ぬぞ！

離れていく船

ベイに敬礼するサブ

敬礼の意味がわかつた  
のか、泣きながら

サブに敬礼するベイ

20分後、高級リゾートホテルの7階で…

サブ

「おつー！いた！  
いた！少年！名前は？

「

少年  
「氣生！」

車いすの少年は

エレベーターの前にいた停電でエレベーターが  
止まりそこにいるしか なかつた

サブ

「オレはサブだ！  
よろしく！お母さんは  
無事だ！氣生！島から  
脱出するぞ！」

氣生

「ボクは「コ」にいる！」

サブ  
「「コ」にいると

大津波で死ぬぞ！」

「死んでもいいよ！」

氣生

サブ

「氣生のマイブームは  
自殺か？」

死んでる

場合じやねーぞ！少年！

氣生

「車いすじゃ 何も  
できないよー！」

サブ

「誰にだつて できる事と できない事があるー！」

氣生

「サブさんー ボクは ハロ死ぬー もよならー！」

サブ

「ムリ！ムリ！

氣生は死なねー よー！

世の中、死にたい人間は  
死なねー よつに できるのー！」

氣生を置いて 階段を  
かけおりるサブ

3分後：

氣生

「サブさんーん！」

反応がない

氣生

「サブさん本当に  
行つちやつたよー！  
津波が来る！  
死んじゃうよー ボクー！」

サブは1人で  
脱出したのか？

氣生  
「サブさーん！」

ズッバーン！ゴオー！

氣生  
「わあー！」

ガラツ！ガツシャーン！

ドツカーン！バリツ！

大津波か？

氣生  
「サブさーん！」

サブ

「そんなデカイ声  
出さなくとも  
聞こえてるよ！」

サブが氣生をびっくり  
させるために、いろいろな音を出していった

サブ

「氣生はできる事を  
がんばればいいんだよ！」

それには人生は自分で  
楽しくするしかないよ！

氣生

「サブさんには  
車いすのボクのキモチ  
わからないよ！」

サブ

「100%は  
わからないけど  
ちょっとはわかるよ！」

と言つて何かをポンッ！と氣生に渡した

氣生

「あつー！」

ヒスゴく驚く氣生！

サブ

「しあわせそうに  
見える人も悲しい事が  
いっぱいあるんだよ！  
言わないから  
わからないけどー！」

何か考へている氣生

サブ

「氣生！オレの  
左足返してくれー！」

サブに義足を返す氣生

20分後、

高級リゾートホテルの  
近くの海岸で…

船に乗り込むサブと氣生

エンジンをかける

キュル！キュル！

サブ

「かかつてくれ！」

キュル！…

かからない！

サブ

「ここまで来て  
そりやないぜ！」

キュル！ル！ル！ル！

ドッ…ドッ…ドッ  
エンジンが、  
かかつた！

サブ

「…だつたら最初  
からかれよ！エンジン…ふう…これで  
助かるぞ！」

ドッ…エンジンが

止まつた！

キュル！…

サブ

「ダメだ！エンジンがかんねー！」

気生

「サブさーん！」

サブ

「他の方法を考えるしかねー！心配するな！  
津波のこねー高い所へ  
行くぞ！」

20分後、

高級リゾートホテルに  
戻る2人

ホテルの屋上で…

電話するサブ

サブ

「今、ホテルの屋上にいます！津波の情報を  
下さい！」

北町改本部にいる日田

日田

「サブさん！今回の津波は14年前の大津波と同じ大きさです！  
ホテルは大津波に  
飲み込まれます！」

サブ

「わかりました！」

氣生に何か説明するサブ

15分後

サブ

「氣生！ココに  
いれば100%死ぬ！  
オレが説明した通り  
やれば100%助かる！  
萌江戸でまた会おうな！」

氣生

「サブさんは？」

サブ

「2人はムリだ！  
行け！氣生！生きろ！」

氣生

「サブやーん！」

サブから離れていく氣生

サブ

「これで氣生はOKだ！」

火る志に電話するサブ

サブ

「頭！車いすの少年が飛んで島から脱出しました！船に乗せて下さ

い！」

火る志

「飛んで？」

サブ

「はいーもう津波が来ます！説明する時間がありません！」

火る志

「わかつた！」

サブ！あきらめるなよ！

サブ

「はい！」

サブは屋上から下の階の

カジノへ行つた

サブがベイにお金を借りてルーレットをやつた

カジノだ

サブ

「人生の最後が

カジノか？オレらしいか？」

同時刻、船に乗つてゐるベイ：

サブから預かつた

金のネックレスを見る

ベイ

ネックレスに刻印がある

COLD

ベイ

「金のネックレス

なら普通GO-LD（金）

だよな？

まちがえたのかな？

それともサブさんの性格の事かな？

冷たいって！

大津波が来る！

14年前に火る志が  
飲み込まれた大津波と  
同じ大きさだ！

14年前に火る志が  
飲み込まれた大津波と  
同じ大きさだ！

14年前の大津波では  
大トロピカル島で  
行方不明者が多く出た！

大トロピカル島は  
今、金の採掘で  
どうなるのだろう

同時刻、ラブの乗つて

盛り上がっている

いる古い帆船を追う  
火る志！

火る志

「古い帆船なのに  
なぜ？速い？

そこへ田田から電話が  
きた

田田

「頭！今！萌江戸で  
1000匹以上の  
やんちゃなサルが  
煙を荒らしたり耕したり店を荒らしたり店番したりして大暴れして  
います！」

火る志

「ベビの次は  
サルか？それで退治  
できそうか？」

日田

「それが普通のサルとは別物で手にいりて  
います！」

火る志

「わかつた！」

動物に詳しい冬葉教頭に　電話する火る志

火る志

「冬葉教頭ですか？」

先ほどは

クローンベビの件  
ありがとうございました　！またアドバイスを  
お願ひしたいのですが？

冬葉教頭

「私は

クローンパンダを倒す、  
パンだんごは持つて  
いませんよ！」

火る志

「パンダでは  
ありません  
サルです！」

萌江戸で1000以上の　やんちゃなサルが大暴れしています！

そのサルたちは普通の　サルとは別物らしく退治するのに  
かなり　手こずっている

そうです！

冬葉教頭

「サルですか？」

退治するには  
モンキー・マジック  
マッシュルーム (MMM) がいい  
ですね！

猫の好物がマタタビの  
ようにサルの好物が  
モンキー・マジック  
マッシュルームです！  
ココにあります！」

バックの中を見る

冬葉教頭

冬葉教頭「ない！  
そうだ！高級リゾート  
ホテルの地下駐車場の  
レンタカーだ！

火ろ志「もうすぐ津波が  
行けません！あつ！  
あのホテルには部下が  
1人いるかもしれない！

しかし、地下駐車場に

行くのは危険過ぎる！

津波が来たら海水が一気に地下駐車場に流れ込み  
海中と同じだ！  
脱出は困難だ！

イヤッ！死ぬ！

他の方法を教えて下さい！」

冬葉教頭

「他を方法は

ありません！なぜならば

今、

萌江戸で暴れている  
やんちゃで陽気で

フレンドリーな

開発した

サルたちは外国人科学者が生物兵器として

クローンザルです！

その特徴は…

知能が高い

ワナにかからない。

毒入りの食べ物は  
食べない

かけ算九九がスラスラ

言える

動きの速さと筋力は

3連休の2日目の

免疫力が強く病気に

ならない

老化しない

20代のサラリーマンと同じ

以上のような特徴から  
人間のチカラでは  
クローンザルを倒す事は  
できません！

クローンザルを倒す

たつたひとつの方は

モンキー マジック  
マッシュルームを  
クローンザルに  
食べさせる事です！

もし！それができないと

クローンザルは食べ物が ある限り生き続け  
増え続けます！

そして、

萌江戸の食べ物を食べ尽くして  
無くなれば人間を  
食べ始めるでしょ！

火る志

「わかりました！  
ありがとうございます！」

電話する火る志

火る志

「サブ！今！  
どこにいる？」

サブ

「高級リゾート  
ホテルの7階の  
は どうしました？」

カジノです！

頭！車いすの少年

火る志

「まだ！飛んで  
来ない！」

氣生は行方不明になつてしまつたのか？

火る志

「サブ！津波が  
来る前に、たのみたい  
事がある！」

サブ

「はい！何ですか？」

火る志

「そのホテルの  
地下駐車場に冬葉教頭が  
乗つて来たレンタカーがある！そのレンタカー  
からモンキーマジック  
マッシュルームを取つて  
きて欲しい！」

サブ

「モンキーマジック  
マッシュルームですか？」

火る志

「それがないと  
萌江戸の人々が  
クローンザルに食われる！」

サブ

「わかりました！」

火る志

「サブ！  
酸素ボンベは？」

サブ

「酸素ボンベも

水中メガネも万が一に  
備えて車いすの

少年にやりました！」

火る志

「津波が来て

地下駐車場に海水が  
流れ込んだら酸素ボンベ  
が無いと…」

サブ

「100%

死にますね！」

火る志

「私が行くまで

待て！」

サブ

「もう津波が来ます！今！モンキー・マジック  
マッシュルームを  
取りに行かないと  
ガレキと海水で搜せなく  
なります！頭！今！  
ルーレットをやります！

火る志

「今か？サブらしいな！どっちにかけた？」

サブ

「赤です！最後まで  
燃えていたいですかから！」

火る志

「いくらかけた？」

サブ

「カジノに募金して  
力ネが無いんで命を  
かけました！赤なら  
オレは生きて帰れます！

火ろ志

「縁起でもない！  
やめろ！私が行くまで  
待て！」

サブ

「これは  
任せて下さい！」  
余裕です！  
「 ました！ありがとう  
ございました！」

火ろ志

「サブ！待て！」

電話をきるサブ

シュー！ シャー！

ルーレットを回すサブ

たまを投げ入れるサブ

コンッ！コンッ！

たまが弾む！

ルーレットが止まる！

サブ

「縁起でもない！」

地下駐車場に急ぐサブ

10分後：

サブ

「レンタカーか？」

レンタカーを捜すサブ

10分後：

サブ

「あれだな？」

ガツシャーン！

レンタカーの窓ガラスを  
マッシュルームを  
手に入れたサブ

ゴオツー！ゴオツー！

小さい音だが、じぎれる事なく何かの音が

聞こえる！

ズンツ！ズンツ！

足に地響きを感じるサブ！

地下駐車場の入口から

サアー！サアー！と

風がサブの方に流れて 来る！

サブの髪の毛が揺れる！

ザツバーン！バリツ！

ゴオツー！ゴオツー！

地下駐車場に

大量の海水が一気に  
流れ込んで来た！

ついに！大津波が來た！

ガツシャン！ガツンッ！

車が転がり車にぶつかる！  
あっ！という間に

地下駐車場の天井まで  
海水でいっぱいになつた！

サブは水中から天井を  
ぼおーと見ていた

同時刻、船を止めて

中トロピカル島の方を

見る火ろ志…

かすかだが煙が見える

大津波で土煙が上がつた！そして中トロピカル島のアチコチで火災  
が  
起きた！

火ろ志

「サブ！」

大津波はいくつもの島に ぶつかつて消えた！

ベイの船、火ろ志の船、ラブたちが乗つてている 古い帆船は大津波  
から 逃げ切つた！

「サブ！もう少し待つてくれ！」

火ろ志

ラブたちが乗つている  
古い帆船を再び追う  
火ろ志

同時刻、ラブたちが  
乗つている古い帆船で…

急死した勝校長を船室に  
運ぶ冬葉教頭

船室から出る冬葉教頭

10分後…

ギイー！

勝校長しかいないはずの  
船室のドアが開いた！

勝校長

「冷蛇」だ！父は  
「冷蛇」のトップの  
「冷蛇王」だ！  
「冷蛇」

は  
火付盗賊改たちに  
滅ぼされ、父も殺された！

私は父の仇を討つ！

火付盗賊改のDNAを  
持つ火付盗賊すべて改を  
滅ぼす！

父の夢は江戸の征服 だつた！

私の夢は  
萌江戸の征服だ！

COLD（冷たい） SNAKE（蛇）を作る

私は犯罪組織の

我なら

「冷蛇」の2・5倍スゴい組織を作れる……いや！2・6倍の……や  
つぱり！ 2・7倍の……ちがつな  
5倍の……

魔心

「何倍でもいいよ！

勝校長

「とにかく私は

「私の父が江戸時代に 作った犯罪組織が

「冷蛇」よりスゴい組織を作れるなぜなら私には

圧倒的な資金力！

圧倒的な組織力！

アツトホームな雰囲気が あるからだ！

ワツ！ハツ！ハツ！

大笑いする勝校長

勝校長

火ろ志の娘だな？

「ムツ！おまえは 火付盗賊すべて改

頭の

ラブを見つけた勝校長！

勝校長

「確か火ろ志は  
火付盗賊改の子孫！ おまえも火  
付盗賊改の DNAを  
持っているんだな？」

父の仇を討つ！

おまえを殺す！

口々にいる者たちは、 おまえの

関係者だな？

おまえが

地獄で淋しがり屋さんに  
ならないように全員  
地獄へ送つてやる！  
ワツ！ハツ！ハツ！

笑いする勝校長

木刀をギュツ！とにぎる  
ラブ！

アロエロ

「社長さん！」

ワインをどうぞ。」

勝校長

「おつー！」

気がきくなー名前は？」

アロエロ

「アロエロです。」

勝校長

ワインは何年モノだ！」

アロエロ

「うまいーこの

昭和64年1月7日です！」

勝校長

「何！昭和最後の日か？」

アロエロ

「はーー！」

勝校長

「気にいった！」

おまえを家来にして

やるや！

ワッ！ハッ！ハッ！」

大笑いする勝校長

K

「アロエロやつ！

調子いいんだから！」

冬葉教頭

「このままだと勝校長は

99.987654321%スゴく悪い人になる

ポチ（じい）

「どうにかしろー冬葉ー

冬葉教頭

「勝校長の記憶を  
リセットします！」

そうすれば元の優しい  
勝校長に戻ります！

リモコンにパスワードを

入力して勝校長があぐびをすればリセット  
OKです！」

パスワードは

「HEART」

リモコンにパスワードを 入力した冬葉教頭

勝校長

「ハクション！」

ちくしょう！

くしゃみをする勝校長  
あぐびをしない！

勝校長

「じいー冬葉ー

萌江戸に城を築くぞ！

いざ！萌江戸！

ワツ！ワツ！ワツ！

大笑いする勝校長！

ポチ（じい）

！」

「びづじた冬葉！若様はあぐびをしないぞ

冬葉教頭

「私が作った

装置は故障しません！

もう一度！」

リモコンにパスワードを  
入力する冬葉教頭

勝校長

「あー…」

あぐびしそうだ！

安心する冬葉教頭と

ホチ（じい）

勝校長

「あー…

しょうー！」

ハクションーちく

ホチ（じい）

「

くしゃみかよー！」

リセットできない

勝校長の記憶！

勝校長がラブたちの方に

歩いて来る

手には刀を持っている！

ホチ（じい）

「

ラブちゃん！

あんずちゃん！

逃げて下さい！「」は私に任せ下さい！

勝校長の前に行く

ポチ（じい）

「若様！」

おやめ下さい！

勝校長

も じゃますれば斬る！

ポチ（じい）

「若様！」

勝校長

「つるやこ！」

ポチ（じい）

「ギャー！」

勝校長はポチ（じい）の  
頭に刀を振りおろした！

ラブ

「じい！死なないで！」

じいは倒れラブに抱かれ ている

ポチ（じい）

ラブちゃんのムネに

抱かれ死んで行ける私は しあわせです！

ラブちゃん！シャンプー 変えた？いい一オイする

ラブ

「いくら、じいで

「じい！ケガして  
ないよ！」

五月人形のかぶとを  
かぶっていたので  
助かった！

ラブ

「じい！重いよ！  
あんずちゃん！じいを  
たのみます！」

あんず

早くじつちにおいでよ……殺されるよ……」

ポチ（じい）

あんずちゃん！  
「切れてない？  
血…出てない？」

あんず

「

だいじょうぶだよ！」

めんどくせー！じじー！

死ぬまで生きる！

同時に、ラブたちが  
乗っている古い帆船を  
追う火る志

10分後：

氣生

「サブさん  
だいじょうぶかな？」

氣生はサブの説明通りに車いすからアドバルーンを1つはずした

氣生の乗っている車いすはゆっくりと降下していく

そして、火る志の船に

救助された！

氣生

「サブさんが2人は  
ムリだからボクだけ  
行けつて…サブさんは？」

火る志

「連絡がない！  
たとえ姿が見えなくとも  
私たちの心の中にサブは  
生き続けるだろー！」

泣く氣生

同時刻、古い帆船で…

アロエロ

「社長さん！

ワインをどうぞ…」

勝校長

「おー！ がきく

な！　名前は？』

アロエロ

『アロエロです！』

さつき教えたよ！』

勝校長

ワインは何年モノだ？』

アロエロ

『うまいー！』の  
ワインを飲む勝校長

平成元年1月8日です！』

『

勝校長　最初の日か？』

アロエロ

『何！平成時代の

勝校長　『氣にいった！  
おまえを家来にして  
やるぞ！』

アロエロ

『ありがとうございます！』

K  
『アロエロのやつ  
調子いいんだから！』

勝校長　『おまえたち全員  
の血と肉を  
「冷蛇王」の  
墓に、おなえする！』

「わあーー！殺されるー！」

勝校長

「だまれー！ドムー！テメーはまわしつけて  
しこふんで、塩まいて  
ちゃんこ作つてろー！」

K

「それー！Kのセリフー！」

勝校長

「全員殺すー！」

ラブ

「校長先生を倒しますー！」

勝校長

小娘だー！おーーー！ラブを  
殺してくれー！」

誰か來たー！

あい

「ラブ死んでー！」

長期欠席していた

「小娘の相手は

「あいーーだー！」

ラブ

「あいちゃんとは  
戦えないー！戦う理由を  
教えてー！」

あい

「教える！」

ラブ

「どうして？」

あい

「ラブが死んだら

教える！」

シュー！とあいが木刀を振る！その音を聞いてあいの剣のうでがラブと互角か、それ以上かはスグにわかった

ラブ

「やめて！

あいちゃんとは戦えない

あい

「別にそれでもいいよ！止まってるのを思いつきり打つだけ！止まってるのを殺そうが戦つて殺そうがあいはそういうのじだわらな

ラブのノドを一直線に

突くあい！

ラブ

「ふつ！」と寸前でよけるラブ！

すかさずラブの脳天

めがけ、ビュー！と一気に木刀を振り下ろすあい！

紙一枚分の動きでかわす

ラブ！

うで！ノド！心臓！

連続で攻撃するあい！

寸前でかわし続けるラブ

ラブ

「やめて！

あいちゃん！」

無言のあい

カンツ！コソツ！

あいの攻撃を木刀で

受け始めるラブ！

木刀がこすれ

コゲくさい！

両手に持っていた木刀を すばやく右手一本で  
持ちビューン！と

のばしたあい！

ラブはわかつていたが  
かわしきれなかつた

チヨン！とラブのノドに

木刀の先がある！

微笑むあい！

ラブ

「ゴホッ！」

せきこむラブ！

口の中に血の味が広がる！

あい

「あいが自由になるための、たった一つの方法！それはラブを殺す事！

ラムネのビー玉じゃ

もうイヤヤ！」

ラブにトドメの一撃を

するあい！

その時、

船が大きく揺れた！

それと同時にあいの一撃をかわすラブ！

あい

「あーーーー！」

バランスを崩し船から 落ちるあい！

ラブ

「あいちやーん！」

あいは、あつ！と

いまに海に消えた！

海が荒ってきた！

勝校長

「あいの役立たず

ラブ

「校長先生を倒します！

勝校長

「ラブ君！

実の父親を殺すのですか？ラブ君の母親は  
私の元カノですよ！」

元カノ＝前の彼女

ラブ

「そんなウソ！

小学生でもわかります！

勝校長

「家に帰つたら

お母さんに聞いて

みなさい！

あつ！聞けないか？

家に帰る時は、箱入り娘：イヤー！かんおけ入り娘だもんね！」

シユツ！シユツ！

と刀でラブに斬りかかる

勝校長！

ラブ

「いつもの優しい  
校長先生に戻つて下さい

勝校長

「私はいつもの  
優しい校長だよ！  
その証拠にまだイタぐ  
してないでしよう？

ワツ！ハツ！ハツ！

大笑いする勝校長

勝校長

「死ね！」

ラブのノドと心臓を  
狙う勝校長！

寸前でかわすラブ！

ラブを本当に殺す氣だ！

ラブ

「やめて下さい！」

勝校長

「やめます！」

ラブ

「あつー！良かつた

勝校長

「ラブ君が死んでから  
やめますよ！」

木刀をギュッ！とこぎる

ラブ！

勝校長

「そんな棒つきれ  
あいと同じで役立たずだ

シュー！と刀を振る

勝校長！

刀を木刀で受けるラブ！

スパッ！と木刀は切断  
された！

ラブ

「あつ！」

短くなつた木刀を見る

ラブ

勝校長

「木刀が短く  
なつても私を殺せる  
でしょう？ コンビニ強盗

を捕まえて、みんなに

チヤホヤされて天狗になっている木刀少女だもんね！ワツ！ハツ！ハツ！」

### 大笑いする勝校長

左目に眼帯をしている

ラブ

右目だけでココ

まで戦ってきた

それだけでも不利なのに

木刀が短くなつて

しまつた

そのうえ、あいとの戦いで体力は消耗している

圧倒的に勝校長が有利だ  
勝校長は考えていた

まずは、ラブのうでに  
ダメージを与える

それからじつくり

むね、ノド、

はらを

イタクしてやる！

いづれにせよトドメは  
いつでもさせん！

ゾクツ！として自然に

顔がほころぶ

完全に自分に酔っている

勝校長

「それっ！」

ラブのノドを狙う勝校長

ヒザを少し曲げ上体を

そらし刀をかわすラブ

勝校長はわざと  
斬らなかつた

時間を

かけてじっくりラブを  
イタくするつもりだ！

左目が見えれば勝校長と互角に戦えるのだが……短くなつた木刀  
疲れているラブ

ピッ！ピッ！ピッ！

ニュース速報

あっ！今！ニュース速報 が入りました！

ラブちゃんに

悪いお知らせがあります

剣の道を極めた

7人の中の1人が

勝校長です！

7人の中に黒和尚が

いたの覚えてる？

あとの5人は？：

ラブが勝てる相手  
じゃないぞ！  
どうするラブ？

ラブはスカートを  
チラッ！とめぐり勝校長  
に太ももを見せた  
それをうっかり  
見てしまう勝校長

ラブ  
「えいっー！」

勝校長に一撃するラブ  
寸前でかわす勝校長

勝校長  
「ズルい女子ですね！  
どこの学校ですか？  
校長の顔が見たいですね

勝校長はラブを倒せる  
と確信して余裕の表情で  
笑っている

ラブ  
「ラブ！キレイです！」

ラブに斬りかかる勝校長

「あつ！この攻撃は！ 上から振りおろした  
刀を瞬時に 下から振り上げて  
ノドへの突きで

トドメをさす三段攻撃だ！」

一瞬でラブはわかつた！  
なぜなら、白和尚様が  
話してくれた黒和尚様の  
必殺ワザだったから！

白和尚様に同じ話を3回 聞かされてイラツーと  
したから、

よく覚えていた。

ラブはその一撃をかわし  
刀をサヤから抜く動作を木刀でした！

勝校長

「ギヤー！」

勝校長は、はらから出血 している！ラブは木刀  
しか持つてないはずだが？ 実は木刀の中に刀  
が

あつたのだ！

ラブ

「校長先生ゴメンなさい

勝校長

「ゴメンなさい  
より応急処置を  
お願ひします！」

ラブ

「キズは浅いです！」

勝校長

「ラブ君！私は  
もうダメだ！この指輪は  
もう一つは結婚を約束  
した恋人が持つていて  
この指輪を形見として  
恋人に渡して欲しい！

2つの指輪の飾りは  
ピタツ！と合づ

ラブ

「恋人の名前を  
教えて下さい！」

勝校長

「あ…」

ラブ

「あ…何ですか？」

首がガクツ！として

意識不明になる勝校長

勝校長の形見の指輪を

ポケットにしまうラブ。勝校長から、  
や その他、大勢の人々を 守つたけれど勝校長を  
イタくしてしまったラブ

クラスメイドール

同時刻、大津波に

飲み込まれた  
中トロピカル島で…

島の被害はスゴかつた！  
強度のない建物はすべて  
海に消えた！

アチコチで

くすぶつていて  
コゲくさい

サブがいた高級リゾート ホテルもボロボ

ロだ！  
ホテルの1階から

7階…いや！

地下駐車場から屋上まで いたる所で魚が  
泳いでいる！

高級リゾート水族館に  
なってしまった！

地下駐車場は天井まで  
海水でいっぱいだ

バツシャーン！

突然！水しぶきが

そして、地下駐車

上がった！

場の入口から

何か飛び出して來た！

ピチッ！ピチッ！

魚だつた

誰もいない島

風と波の音だけがする

静かに時間が過ぎていく  
バッシューン！

また魚か？

「ふつはー！  
助かつた！」

サブ

地下駐車場の入口から  
サブが出てきた！

サブは義足の中に  
水中メガネと酸素ボンベを入れていた！  
それを使って助かつた！

サブ

「あつー！  
義足で良かつた！」

火る志に電話するサブ

サブ

「頭！任務完了  
しました！」

火る志

「サブ！心配

したぞ！助かつたと  
いう事はルー・レットは  
赤だつたんだな？」

サブ

「たまが無くなつて  
わかりませんでした」

火ろ志

「サブ！」

ルー・レットやるなら  
送金するぞ！」

サブ

「一生やりません！

10分後、ラブたちが  
乗つて いる古い帆船に  
追いつき古い帆船に  
乗り移る火ろ志

火ろ志

「ラブ！無事か？

ラブ  
「はい！」

倒れて いる勝校長を見る  
火ろ志

「これは？」

ラブ  
「はい！」

倒れて いる勝校長を見る  
火ろ志

ラブ  
「校長はスゴく  
悪い人になつて

しまいました。みんなを守るためにこうな

つてしましました

火ろ志

「私がもつと早く来ていれば…むつ…」の頭の  
ヘビのタトゥーは…

あつ！思い出した 14年前、私を海で  
かつちやんだつたんだな

助けてくれたのは、

突然！バーンと 爆発して  
船が燃え始める

火ろ志

「みんな！早く！  
むこうの船に乗り移れ！

火ろ志が乗つて来た船に 乗り移る  
クラスメイドールと

その他、

大勢の人々

傾き、徐々に沈み始める  
古い帆船

火ろ志

「急げー！」

バーン！一度目の爆発

ラブ

「父上！早く！」

火ろ志

「14年前の借りを返す！ かっちゃんを助ける！」

バーンー三度目の爆発

大きな火柱が立つ！

古い帆船は沈んだ！

ラブ

「父上ー！」

火ろ志を助けに海へ  
飛び込もうとするラブ

あんず

「ラブちゃん！  
ダメ！死んじやうよー！」

ラブ

「あんずちゃん！  
手を離して！父上ー！」

火ろ志は行方不明に  
なった！

30分後、ラブたちが  
乗った船は萌江戸に  
着いた

ラブ

「父上と勝校長が  
海で行方不明です！」

京町

「何！」

きなわ

「すぐ、捜しに 行く！」

八本木

「出動だ！」

同日…

江戸時代の犯罪組織 「冷蛇」はサルに  
赤ちゃんを誘拐させて

売っていた

爆発して燃えて沈んだ

古い帆船には怪しいサル と誘拐された3人の 赤ちゃんは乗つ

いなかつた

萌江戸でサルに

誘拐された

3人の赤ちゃんは、 どこへ消えたのか？

火ろ志と勝校長は 古い帆船と燃えて灰になってしまったの  
だらうか？ 同日、海で…

小さな船が浮かんでいる

火ろ志

「サブ！」んな船しかなかつたのか？」

「はい！」

サブ

エンジン付きの船は

ダメでした！」

3日後、萌江戸北町で…

サブが必死で手に入れた

ヘビチリソースと

モンキーマジック

マッシュルームの

トルの

クローンヘビと

1000匹以上いた

やんちゃな

クローンザルはすべて

死んだ！

クローンヘビと

町中にいっぱいある！

クローンヘビと

された、

のライヌ

のらネコ、のらパンダの死体も町中に

いっぱいある！

あとかたづけをする人々

ポチ（じい）

「あんずちゃん！コレ！

おいしそうな二オイが

するよ！」

マッシュルームっぽい

モノを持つて

酔っぱらつたように

はしゃぐポチ（じい）

あんず

「おこしそうな  
「オイなんて、  
全然しないよ！」

「おこしそうな  
「オイなんて、  
全然しないよ！」

サルにだけわかる  
のかな？」

「

「の「オイ！ もうカマン できなーー！ 食べかやおうーー！」

それ！ モンキー・マジック・マッシュ・ショルームじや

ないの？ 誰か止めてー。  
食べると死んじゅうよー。

パクツー！ ムシャー！ ムシャー！ とおこしそうに

食べる

ポチ（じい）。

123秒後…

ポチ（じい）  
「うー！」

苦しんで倒れる

ポチ（じい）！

あんず「じー！ しつかり！ ラブちゃん！」

ラブ「あんずちゃん！」

びひしたの？」

あんず「じいが

マッシュルームっぽい

モノを食べたら急に

苦しんで倒れたの！」

ラブ「じー！ 早く！

食べたモノ吐き出して!」

じいは死んだ!

あんず「あんずが悪いの! あんずがアレを取り上げれば、

ポチ(じい)は死なずにすんだのに!」

泣くラブとあんず。

冬葉教頭「イヤ!

あんず君がアレを取り上げていても

ポチ(じい)は死んで

いたよ!

アレの二オイを

かいだサルは食べずには  
いられなくなる!

食べなければ

上司と部下にはさまれた中間管理職が感じる

ストレスと同じような

ストレスを感じ死ぬ!

ポチ(じい)は

心は人間だけど

体はサルだから

モンキー・マジック

マッシュルームを

食べてしまつたんだな

かわいそうに!」

1時間後:

クローンヘビ、  
クローンザル、

のライヌ、のらネ」「、  
のらパンダの死体を

乗せたトラックに

ポチ（じい）も

乗せられた！

そしてトラックは

火葬場へ向かつた！

ラブ「じい行つちゃつたね！」

あんず「あんなに

やんちゃだつたのに…」

10分後…

ラブ「あつー！ いつぱい 泣いた！」

あんず「あんずも！」

ラブ「りあるのバカ！」

とうとう、あんずちゃん を助けに 来なかつた！

どこで

ラムネ… イヤ！ 油を

売つてるんだろ？？」

あんず

「ケガでも

したのかなあー？

のらネ口みたいに

やんちゃだから…」

同曰…

萌江戸でサルが3日連続 1日に1人づつ赤ちゃんを誘拐した事件  
は今も 未解決だ！ サルが乗つたとみられる古い帆船と 3人の赤  
ちゃんは 発見されていない！ それに事件を起こした サ

ルとサルを操つて いる  
とみられる人間も 捕まつてい ない！

あんず

「ラブちゃん

左目だいじょうぶ？」

ラブ

「うん！ ちょっと  
カヨイだけ！」

左田の眼帯をさわるラブ

次の日、

萌江戸北町改本部で…

日田

「頭！ 今回、 萌江戸  
で暴れてい たやんちゃん  
クローンザルのDNAと  
14年前に  
ベイビー ハウスに置いて  
いかれた赤ちゃんが  
持つてい たサルの毛の  
DNAが一致しました！」

火ろ志「 そうなると、  
今回のやんちゃん

クローンザルは14年前のサルの細胞から作られ  
たんだな？」

日田「 そうなります！」

火る志「今日は冬葉教頭のヘビチリソースと

モンキー・マジック

マッシュルームがあつて  
助かつたよ!アレが  
無かつたらと思うと  
ゾツ!とするよ!」

日田「冬葉教頭はなぜ?アレを持っていた  
んで

しううね?いくら動物に 詳しいと言つても  
不思議ですね?」

火る志「まさか!

冬葉教頭が14年前から  
クローンザルを作つて  
いたのか?」

日田「可能性は  
ありますね!サルを何に  
使うつもりだつたん  
でしようか?」

火る志「サルを使つと

言えば「冷蛇」が  
思い浮かぶな?」

日田「「冷蛇」は

江戸時代に滅びましたよ!」

火る志「ラブの話によると勝校長は

COLD(冷たい)

SNAKE(蛇)といつ

犯罪組織を作つて

萌江戸を征服すると

言つたそだ

日田「もしかすると

勝校長の萌江戸征服の  
ために冬葉教頭が  
クローンザルを作つたん  
でしようか？」

今は証拠が無い。」

火る志「可能性はあるが

同日、金の採掘で  
盛り上がつていた  
大トロピカル島で  
金の採掘地サギが発覚  
した！

金の鉱脈があると販売  
された金の採掘地に 金の鉱脈は無かつた！

毎日のように発見された  
金は誰かが計画的に  
バラまいたモノだった！

誰がバラまいたかは  
すぐにわかつた！

金の採掘地を販売した  
コーヒー・シュガーリー社の  
坂本社長だ！

りあるが働いている会社の社長だ！

絶望する

サギの被害者たち！  
家を卖つたり、借金を  
したりして金の採掘地を

買つたんだもん  
そりや絶望するよ！

金の採掘地を販売した  
坂本社長は金の採掘地が  
完売すると同時に  
退職した！

坂本社長は偽名を使い、  
変装していた！

次の日、

萌江戸北町改本部で…

取り調べを受ける

坂本社長の部下の

渋矢専務『元改頭』

火る志の元上司

火る志「頭は14年前の

大津波のアトどうなつたんですか？」

渋矢専務「もつ頭じゃ

ない！やめてくれ！今は  
立派なサギの容疑者だよ！」

ワツ！ハツ！ハツ！と

笑う2人。

渋矢専務「私は海へ 投げ出されて、気が  
社長に救助されていた。それで恩返しのために  
コーヒー シュガーリー社で  
働いた」

火る志「そうでしたか

ついた時には坂本

渋矢専務「火る志は？」

火る志

「私もすぐに救助されました」

渋矢専務

「他の改たちは？」

火る志

「無事でした。」

京町、きなわ、八本木の  
3人は改頭になりました

渋矢専務

「良かつた！」

火る志

「サギについて  
何か知っていますか？」

渋矢専務

「私は海外へ  
行つていて何も  
わからなかつたよ！  
たぶん坂本社長が1人で  
サギつたんだと思う。  
金の採掘地の販売代金の  
1000億萌円と  
いつしょに行方不明  
なんだから！」

1000億円

1000億萌円!!

30分後、留置場へ 入れられる渋矢専務。  
渋矢専務は世間では

「レジヤー王」と呼ばれていた。

りあるが地元で  
ばれ  
ているよ」。

なぜ? 「レジヤー王」と  
呼ばれていたかといふと  
中トロピカル島を  
リゾート開発して、  
いくつものレジヤー施設を作ったからだ。

日田「  
レジヤー王」と  
冷蛇王  
れいじやおう

似てますね?」

火る志「似てるな!」

ろうと  
しているのでは?」

日田「渋矢専務は現代の「冷蛇王」にな

火る志「まさか?」

日田「中トロピカル島

には「冷蛇」の子孫たちが住んでいます。

渋矢専務が何らかの  
影響を受けて、犯罪を

犯しても不思議では  
ないです。」

負けた男子」と呼

「ラブちゃんに

地元で

ばれ

たからだ。

アルコ「行方不明の  
坂本社長は  
なぜ？金の採掘地サギを  
したんでしょうか？」

ジーマ「そうだよなあ、  
大トロピカル島なら宅地 として販売しても、  
よ。 サギをする  
必要はないよな！」

かわいそうですよ！

金が出ると思って掘つて るのに、出でくるモノは 貝ガラや動物  
の骨  
ですから…」

けど、人間の骨が出て  
くると、ちょっと困り ますね！」

由自「動物の骨ならい  
出でくるかもしれません！14年前の大津波では  
、大トロピカル島で、  
行方不明者が多く出て  
いますから！」

火る志「サブ！もし

自分の家族や恋人が  
行方不明になつたら  
どうする？」

サブ「必死に捜します

火ろ志「サギをしても

捜すか？」

サブ「あつ！もしかして！」

火ろ志「その、もしかしてだよ！坂本社長はサギをしてまで捜したい大切な人が行方不明になつたんだよ！」

火ろ志「サギをしても

どこかで生きている

可能性があるし、

骨が発見されれば

引き取りたかったんだよ！」

金の採掘地として販売

すれば、島はすみずみ

までスゴく深く掘られ

行方不明者の骨は

確実に発見される！」

サブ

大トロピカル島を

「坂本社長は  
金の採掘地の販売代金の 1000億萌円と  
こへ  
消えたんでしょうね？」

1000億円…

同日…

萌江戸でサルが3日連続 1日に1人づつ  
赤ちゃんを誘拐した事件は今も 未解決だ！サルが乗つたとみられる古い帆船と 3人の赤ちゃんは 発見されていない。  
それに事件を起こした  
サルとサルを操っている

とみられる人間も  
捕まつていな。

同日、ラブの自宅で…

形見の指輪を

恋人に渡して欲しいと  
勝校長にたのまれたラブ

ラブ

「恋人の名前が

「あ」だけじゃ

わかんないなあー！

あんずちゃん？

あいちやん？

あつ！母上は

「あゆめ」だ！

数日後…

大トロピカル島で…

金の採掘地サギの被害者  
が、あと片づけを  
している。

被害者「指輪と骨？」

土の中から指輪と骨が  
出ってきた！

ニュースになつた。

ニュースを見たラブは指輪と骨を保管している萌江戸北町改本部へ行つた。

ラブ「父上！」

大トロピカル島で発見された指輪を見せて

下さい！」

そんなにあわてて

ラブ

「その指輪！」

校長先生の形見の指輪とペアリングかもしないんです！」

火る志

「勝校長の恋人の指輪か？じゃあ指輪といつしょに発見された

骨は勝校長の恋人の骨か？」

ラブに指輪を渡す火る志

2つの指輪の飾りを

真剣な表情で合わ

せる

ラブ。それを見守る

改たち。

ラブ「あつーー合わない！校長先生かわい

そう！」

愛の奇跡つてないの！」

サブ「そんなドラ

マ

みてーな話ある  
わけねーよ！」

火る志「ラブー私の指輪を返してくれ！」

ラブ「えつ！」

火る志「やつぱり私の

指輪じやダメか？」

ラブ「父上！」

今度はちゃんと

大トロピカル島から

発見された指輪を渡した

2つの指輪の飾りを  
真剣な表情で合わせる  
ラブ。それを見守る  
改たち。

ラブ

「あつーー合わない！

サブ  
「オレのせいよ！」

サブのせいいか？

ラブが不器用なのか？

2つの指輪の飾りは  
ピタツーと合わない！

ラブ

「もう1回！」

勝校長の指輪には

REAL

恋人の指輪には

LOVE

と刻印がある。

REAL（本物）

LOVE（愛）

2つの指輪の飾りは  
ピタツ！と合って  
ハートの形になった！

ピタツ！と合って

本物の愛の指輪になった！

ラブ

「悲しい！」

泣きそうなラブ。

火る志

「ラブ！指輪は  
ピタツ！と合つたぞ！  
なぜ？悲しいんだ？」

ラブ

ピタツ！と合つて

本物の愛の指輪になった のに…

やつといつしょに

なれたのに…

「2つの指輪は

愛し合っていた2人は

もういない…」

考へて いる改たち。

火る志 「金の採掘地サギを してまで行方不明  
者を 捜したかつた坂本社長。 金の採掘地

から発見

された、 勝校長の指輪に  
ピタッ！と合づ指輪「

サブ 「まさか！

坂本社長と 勝校長は  
同一人物なのか？」

日田 「頭！指輪と  
いっしょに発見された  
骨のDNA鑑定の結果が  
出ました！あの骨は  
サルの骨です！」

火る志 「サルの骨という 事は、 勝校長の  
恋人が 生きている可能性があるな？」

ざわつく改たち！

火る志 「ラブ！ 勝校長は  
他に何か言つてなかつたか？」  
ラブ 「校長先生の父親は  
「冷蛇王」 だと言つて  
いました」

日田「冷蛇王」は

江戸時代の人間ですよ！」

火る志「そういえば

勝校長が小3の時、江戸 から来たって言つて  
たなあ？」

日田「スゴイ！ウソ

ですね！」

ラブ「それと

COLD（冷たい）

SNAKE（蛇）という

犯罪組織を作ると言つて

いました」

サブ「そのCSってのは「冷蛇」の  
マネですかね？」

火る志「サブ！CS

だよ！CS！

CSでピィーンと

きたよ！

日田！坂本社長が

名前をすべて教えてくれ！」

日田「了解！」

15分後、火る志にメモを渡す日田。

メモの内容…

坂本社長が関わったモノの名前。

関わっているモノの

COFFEE

SUGAR社は坂本社長  
が社長の会社。

COMPLETE

SECURITY社も  
坂本社長が社長の会社。

CHILD

SAFETYも坂本社長  
が社長の託児所。

CARNIVAL

STAR号は坂本社長が  
所有する古い帆船。

CHERRY SODA

はコーヒーシュガー社  
が主催した、

萌江戸アマチュアバンド  
バンドの名前。

メモを見て考へている

火る志。

火る志「坂本社長が

関わったモノの名前は  
単語が多いな！勝校長が作ると言つた犯罪組織

COLD SNAKE

と同じCとSだ！偶然に  
しては数が多いな？」

サブ「まさか！

ことSではじまる

坂本社長と勝校長は  
同一人物なのか？」

火る志「他に情報は？」

日田「勝校長の頭の  
ヘビのタトゥーは  
「冷蛇」の紋章と同じ  
です！ それと

勝校長の名前ですが」

火る志「勝九美男  
(かつくみお) 普通だろ？」

日田「勝は「まさる」と  
読みます」

火る志「しかし、小3の  
時に転校して来た勝校長を担任の教師は「かつ」  
と紹介したよ」

日田「それがまちがいだとしたら？ 九美男の九の意味ですが」

火る志「勝校長は  
九人兄弟つて学校で有名 だつたよ！」

日田「もし！ 九人兄弟が  
うわさだつたら？」

九の意味は十一支です。

十一支の九番目がサル  
だからです。  
も 十二支です。

九美男の美の意味

美<sup>み</sup>

巳<sup>み</sup>＝ヘビ

勝九美男

(まさるくみお)

の　名前の中に  
サルとヘビがいます。

まさるのサル。

十二支でサルが九番目  
だから九

美<sup>み</sup>  
サルは

巳<sup>み</sup>＝ヘビ

「冷蛇」

が犯罪に使つた大切な  
人の名前に使つたんです  
「冷蛇」を表しています

そしてヘビは

火る志

「日田が推理した

勝校長の名前の意味と  
頭のヘビのタトゥー、  
そして今までの  
発言と行動からして  
勝校長は

「冷蛇」の

関係者かもしれないな！」

日田「勝校長は本当に  
江戸時代の人間だったの　かもしだせんね」

サブ「そんなバカな？」

日田  
でも細胞が破壊され  
「江戸時代の死体  
いなれば

蘇らせる事は可能かもしれません！たとえば  
冷凍保存されていたとか」

サブ「冷凍食品を  
電子レンジでチン！  
するみたいにか？」

ワツ！ハツ！ハツ！  
笑う改たち。

「冷蛇」はサルに  
人間の赤ちゃんを  
誘拐させて売つていた！

サルが3人の赤ちゃんを誘拐した事件は勝校長のしわざか？

サブ「結局、  
頭にヘビのタトゥーが  
ある男と  
勝校長と坂本社長は  
同一人物という事ですか？」

火る志「可能性はある」

ラブ「校長先生は  
複数の人物を使い分けて  
に」

火る志「私のように？」

ラブ「はい！サブさん

たちには頭と呼ばれ  
キレイなおねえさんと  
いつしょにお酒が飲める お店では社長さんと  
呼ばれているようになります！」

火る志「母さんには  
ナイショしてくれ！」

1週間後：

渋矢専務は証拠不十分で 釈放された。そして  
コーヒー・シュガー社を  
退職した。

同日…

突然！学校を退職する 冬葉教頭。  
1週間後…

突然！学校を退職する 冬葉教頭。  
1週間後…

コーヒー・シュガー社の  
社長になる冬葉教頭。

同日…

萌江戸でサルが3日連続 1日に1人づつ赤ちゃんを誘拐した事件  
は今も 未解決だ！サルが乗つたとみられる古い帆船と 3人の赤  
ちゃんは 発見されていない。 それに、事件を起こしたサ  
ルとサルを操つていてみられる人間も 捕まつていらない。

この事件と、

金の採掘地サギに

関わったとみられる

坂本社長と勝校長が

消えた今、事件の真相は

誰にもわからない！

同日、

萌江戸北町改本部で…

ベイ「頭、ちょっと気に  
なる事があるんですが」

サブから預かつた

金のネックレスを

火ろ志に見せるベイ。

金のネックレスの刻印を見る火ろ志。

金のネックレスには

「COLD」 と刻印が  
ある。

火ろ志「勝校長が作ると 言っていた犯罪組織

「COLD SNAKE」

の「COLD」か？

まさか！サブが？」

同日、大トロピカル島で…

いくら穴を掘つても金は もう出ない。

サギだつたから…

サギ被害者の男「  
もしかしたら、  
バラまかれた金の残りが  
あるかも知れないぞ！」

シャベルで穴を掘る男。

1時間後…

ポオーン…とシャベルを 放り投げる男。

男「ちくしょう！もう！米を買つカネもねー！  
この世は神も仏も  
いないのか？」

日が暮れた…

絶望の中で夜空を  
見上げる男。

ポツツ！ポツツ！と

何か降つてきた。

男「ちくしょう！雨かよービコまでオレは運が  
悪いんだ！」

バタッ！と倒れる男！

男「ハツ！ハツ！ハツ！」と大笑いする男。

運が悪すぎて気が  
狂つてしまつたのか？

男「これは雨じゃない！  
原油だ！」

次の日、萌江戸北町の  
コノビニのベンチで…

ラブちゃん！

あんずちゃん！  
お元氣で！

さよなら…

ラブ

「えつ！」

あんず

「ラブちゃん！  
どうしたの？」

ラブ

「今、ポチ（じい）の声がした！」

あんず

「声なんて聞こえなかつたよ！」

ポチ（じい）は死んで

トラックで火葬場へ

運ばれたよ！

ラブちゃんも悲しい結末を見たでしょう。」

ラブ

「だけど…」

あんず

夜おそくまで、

ケータイ小説書いてる  
から、疲れてるんだよ！

それでそういうの

聞こえちゃつたんだよ…」

30分後、家に帰る

ラブとあんず

10分後：

ラブたちがいた  
コンビニのベンチに  
カップルが座っている

サルカノ

「キイー！（ソレ！  
恥ずかしいから、

取つて！）」

サルカレ

「キイー！（はい！  
はい！わかりました！）

頭にかぶっていた  
かぶとを取るサルカレ

サルカノ＝サルの彼女

サルカレ＝サルの彼氏

某日、萌江戸の  
ベイビーハウスで…

ベイビーハウス＝

赤ちゃんを育てられない  
親が赤ちゃんを

預ける施設

職員A

「今日で  
赤ちゃんが置いて  
いかれるのは  
3日連続、3人目ですよ！」

職員V

「今までも  
2日連続って事が  
あつたから3日連続でも  
不思議じゃないよ！」

大津波から1ヶ月後、 萌江戸北町の

（未完）

「ハセマのベンチで…

ラブ

「つある君、

ビビ

行つけたんだひつ。

あんず

「のうね口みたいに

やんぢやだか、ひづかで生きてるよ。

たぶん…」

ラブ

「あんずあひる、

電話は…」

あんず

「毎日じてるナビ

通じない…

中口ピカル島の

伝説つてウソだね…」

ラブ

「じつこじ説?

あんず

「今日は話す

気分じゃないの…

ゴメンね…」

ラブ

「いいよ！」

あとで教えてね！」

あんず

「うん！」

ラブ

「カコイイ！」

左田の眼帯をはずすラブ

あんず

「ラブちゃん！」

左田の色、グリーンだよ！」

ラブ

「グリーン？あつー！」

何かを思い出すラブ

ラブの西田の元の色は  
ブルー

あいの西田の色は  
グリーン

りあるの右田の色は  
ブルー

左田の色はグリーン

今のラブの右目の中は

ブルー

左目の色はグリーン

勝校長を倒した

木刀の中の刀を見るラブ

その刀は一つの柄に

2つの刀の刃が並んでついている

二刃刀と

呼ぼう！

1つはラブの刀の刃

もう1つの刀の刃を見て

ハツ！とするラブ

刀の刃に

「りある」と

彫つてある

コンビニで、ラブとりあるとあいの3人でラムネを飲んだ時にりあるに見せてもらった刀だった

同日、

萌江戸北町改本部に事件の情報が入った

14年前のサルが公園で

赤ちゃんを誘拐した事件の情報だ

その情報によると  
ベビーカーには  
3つ子の赤ちゃんが  
3人乗つっていたそうだ

同日、

萌江戸北町改本部で…

火ろ志

「ゴホッ！ゴホッ！ゴホッ！」

激しくせきこむ火ろ志

血を吐いた病気は完治  
してないのか？

同日、ラブの自宅で…

1枚の古い写真が  
落ちている

写真を拾つて見るラブ

その写真には、

ふたごの若いギャルが  
写つていた

ラブ

「母上！ふたごだつたんだ！」

次の日、萌江戸の海岸で…  
久しぶりに家族3人で  
海に遊びに来た  
砂浜を歩く3人

火る志  
に オペスキー医師と  
てもいいかい？」

あゆめ

「お父さんの自由ですよ…」

火る志  
血を吐いた病気は  
父さんは余命3ヶ月だ！  
ラブ！母さんを  
たのんだぞ！」

火る志

「ラブ！父さんが

今 の 医 学 で は 治 せ な い ！

ラブ  
「えつ！ウソ！  
やだよ！そんなの！」

泣くラブ

火る志

「ゴホッ…ゴホッ…ゴホッ…」

## 激しくせせりむ火る志

あゆめ

「お父さんは

余命3ヶ月では  
ありませんよ！」

火る志

もう隠さなくとも  
いいんだよ！私は  
オペスキー医師と  
つたんだよ！」

あゆめ

「お父さんの

勘違いですよ！

あの時、オペスキー医師は、  
一生治らない

病気ではありません！

3ヶ月のリハビリが  
必要です！と

「言ったんですよ！」

火る志

「やうだつたのか！」

ラブ

「良かつた！」

火る志

「まだ！死ねない！  
ラブの結婚式に出席して、孫とキャッチボール  
やって、孫の結婚式に出席して、それから…」

あゆめ

「お父さん！」

何歳まで生きるのよ？」

火ろ志

「八宝菜！」

あゆめ

「今日は久しぶりに外食しましょうね！」

ラブ

「やつたー！」

火ろ志

「ラブ！」

何が食べたい？」

ラブ  
「八宝菜！」

ワツ！ハツ！ハツ！と

大笑いする3人

大洗の海岸じゃないのに…

茨城県の人には

ウケるんですけど…

同日の夜、

古い帆船が沈んだ海に  
黒い巨大な物体が現れた

ラブ！キレ

回予告

完

ラブ！キレ2

次

黒い巨大な物体の正体

キレーラブ（3回目）

冬葉社長の野望

黒和尚VS白和尚

愛浮上

二刃刀VS三刃刀

目）

蘇る勝校長（3回

りあるは冷血

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2711d/>

---

ラブ！キレ（日本語版）

2010年10月11日08時06分発行